

R7.4月 改訂

# 危機管理マニュアル職員必携

## 連絡先一覧

|            |                |             |
|------------|----------------|-------------|
| * 学校医      | 前田内科医院 (内科)    | TEL 22-5802 |
|            | 小林市細野2759-1    |             |
|            | 花田武浩医師 (耳鼻咽喉科) | TEL 22-9828 |
|            | 小林市堤2882-10    | ※医者個人       |
|            | 柊山医院 (眼科)      | TEL 22-2503 |
|            | 小林市真方118       |             |
|            | 大坪歯科医院 (歯科)    | TEL 23-4488 |
|            | 小林市堤2961-37    |             |
| * 関連機関及び病院 |                |             |
|            | 中央消防署警防指令課     | TEL 23-2013 |
|            | 中央消防署(代表)      | TEL 23-0119 |
|            | 救急車 119        |             |
|            | 小林警察署          | TEL 23-0110 |
|            | 緊急時 110        |             |
|            | 小林市立病院         | TEL 23-4711 |
|            | 園田病院           | TEL 22-2221 |
|            | 前原病院           | TEL 23-1711 |
|            | 池田病院           | TEL 23-3535 |
|            | 押領司病院          | TEL 22-3131 |
|            | 小林中央眼科         | TEL 23-5300 |
|            | 桑原皮膚科医院        | TEL 22-5528 |
|            | 国民健康保険高原病院     | TEL 42-1022 |
|            | 川井田医院          | TEL 42-2000 |
|            | ふきやま霧島東麓クリニック  | TEL 25-6010 |

宮崎県立小林秀峰高等学校 0984-23-2252

# 目 次

|                               | 頁         |
|-------------------------------|-----------|
| I はじめに                        | 1         |
| II 基本的事項                      | 1         |
| III 外部への対応上留意すべき事項            | 1         |
| IV 緊急連絡先                      | 1         |
| V マニュアル表                      |           |
| 1 学校内における生徒の事故 <授業中>          | 2         |
| 2 学校内における生徒の事故 <放課後・部活動中>     | 3         |
| 3 日曜・祝祭日・長期休業中の事故発生時の対応 <生徒用> | 4         |
| 4 学校外における生徒の事故 <登校中・下校中>      | 5         |
| 5 学校外における職員の事故                | 6         |
| 6 学校防災 <職員在勤中の火災>             | 7         |
| 7 学校防災 <職員等が不在中の火災>           | 8         |
| 8 学校防災 <職員在勤中の地震>             | 9,10      |
| 9 学校防災 <職員引率中の地震・津波>          | 11        |
| 10 学校防災 <職員・生徒が不在中の地震>        | 12        |
| 11 学校防災 <風水害発生>               | 13        |
| <風水害メモ>                       | 14        |
| 12 学校防災 <弾道ミサイルに係る対応>         | 15        |
| 13 学校内の事故 <いじめ・校内暴力等>         | 16        |
| 14 学校内の事故 <不審者の立ち入りへの緊急対応>    | 17        |
| <不審者の侵入>                      | 18        |
| <暴走族の侵入>                      | 19        |
| 15 職員・生徒の健康管理 <感染症・食中毒発生>     | 20        |
| 16 データの漏えいがあったときの対応手順         | 21        |
| 17 事故発生(アレルギー発症)時の対応          | 22-28     |
| 18 事故発生(低血糖)時の対応、別紙①、別紙②      | 29-31     |
| VI 生徒の引渡し緊急連絡カード              | 32        |
| <b>火山噴火災害対策マニュアル</b>          | <b>33</b> |
| I 防災計画                        |           |
| 1 避難勧告段階における学校の対策             | 34        |
| 2 噴火警戒レベル                     | 35        |
| 3 本校独自の火山噴火ランク                | 35        |
| II 指令系統                       | 36        |
| III 学校内組織                     |           |
| 1 学校災害対策本部組織                  | 36        |
| IV 具体的な対策                     |           |
| 1 学校防災 <火山噴火ランク3>             | 37        |
| 2 学校防災 <職員在勤中の噴火ランク2>         | 38        |
| 3 学校防災 <職員・生徒が不在中の噴火ランク2>     | 39        |
| 4 学校防災 <職員在勤中の噴火ランク1>         | 40        |

## 目 次

|    |                 |       |
|----|-----------------|-------|
| V  | 防災関係機関連絡窓口..... | 41    |
| VI | 火山噴火防災について..... | 42-43 |

頁

# 小林秀峰高等学校の危機管理

## I はじめに

このマニュアルは、本校における危機管理の手順や手だて・方法等を示すものである。ただし、原則的な対応を示すもので、個々の状況すべてに当てはまるものではない。**対応に当たっては、機械的な処理に陥らず、次に示す基本的事項を踏まえ、各々の状況や場面に応じ、沈着・冷静・確実に最も適切な措置を取ることに努めなければならない。**

## II 基本的事項

- 1 人命尊重を第一義に進める。
- 2 保護者等関係者の心情に配慮し、誠意と責任を持って当たる。
- 3 発生した事項、場所、時刻、原因、経過等の状況を的確に把握して記録する。
- 4 外部（報道機関等）への対応は、窓口を副校長（教頭）に一本化する。
- 5 調査した内容や状況を外部に連絡・広報する際は事実のみを示し、推測や予想を差し挟まない。
- 6 日常的に関係職員の連携を密にし、報告、連絡、相談、記録等を確実に行う。
- 7 原因等の究明を行い、事故の再発を防止するための対応策を検討する。
- 8 防災については、**校内防災レベル1～3の3段階**で対応する。

**レベル3:**自治体単位避難相当、社会システムが重大なダメージを受け本マニュアルでは対応できない状態。

**レベル2:**避難等を必要とする状態。**危機管理マニュアルを対応の参考にする。**

**レベル1:**注意情報を伝えるが学校活動は通常通り。

## III 外部への対応上留意すべき事項

- 1 外部への対応は、窓口を副校長（教頭）に一本化し、電話等での問合せには注意する。
- 2 当事者の姓名の公表については、プライバシー保護の観点から、十分検討、協議する。
- 3 事故までの経緯、学校の取った措置等については、推測や予想では語らないようにし、事実のみを話す。
- 4 事故については冷静に受け止め、責任回避のないように、心して事に当たるとともに、最高責任者である校長が学校としての責任を持って話す。
- 5 現段階ではっきりしない事項については「事実関係について調べているところである」ことを伝え、「多分そのはず・・・」といった推測は絶対に避ける。
- 6 報道機関等の会見が必要な場合は、各社ばらばらに行わず、会見時刻と場所を設定して臨む。
- 7 職員や生徒、保護者の批判に当たる言葉や差別用語は絶対に使わない。

## IV 緊急連絡先（宮崎県立小林秀峰高等学校）

電話:0984-23-2252

FAX:0984-23-2257

※県教育庁 人権同和教育課 生徒指導・安全担当

電話:0985-26-7238

FAX:0985-32-4476

0985-26-7252

## V マニュアル表

### I 学校内における生徒の事故 <授業中>

チェック ☒

|           |                                                                                                             |                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 事故発生<br>↓ |                                                                                                             | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 救命措置<br>↓ | 授業担当者(又は生徒)が救命措置を実施し、同時に応援を求める。<br>【判断】⇒保健室へ搬送するか。その場で処置するか。<br>その場から離れない事。                                 | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 通 報<br>↓  | 必要に応じて119番通報<br>①学校名、②事故や容態の概要、③当事者の年齢(学年)、④性別、⑤氏名<br>⑥本校の電話番号、⑦救急車進入場所、⑧通報者の氏名など<br>☎ 0984-23-2252         | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 応急措置<br>↓ | 【養護教諭・保健主事・体育科職員・担任等】 応急措置<br>★生徒の動揺を静める。                                                                   | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 病院搬送<br>↓ | 【生徒指導部等】救急車の誘導⇒【養護教諭・担任等】が付き添う。                                                                             | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 状況調査<br>↓ | 【副校長(教頭)】が状況把握者・生徒・担当者を調査し【教務主任】が記録する。<br>[学級、氏名、性別、発生場所、時刻、発生状況、原因、経過、搬送先病院、<br>保護者名、保護者との連絡状況など] ⇒【校長】に報告 |                 |
| 状態報告<br>↓ | 病院から学校【副校長(教頭)】へ報告する。<br>[到着時刻、傷病名とその程度、治療の状況、病院へは誰が行っているかなど]                                               |                 |
| 諸機関への連絡   | 病院からの状態報告により、傷病の程度に応じ【校長】が判断する。                                                                             |                 |

#### 留意事項

- (1) 保護者への連絡は、過剰な動揺を招かないように、次の事項を落ち着いて連絡する。  
[事故等の状況、傷病の程度、搬送先病院、必要に応じ保険証持参等]
- (2) 加害者がいる場合は、その保護者へも状況説明の連絡をする。
- (3) 必要に応じ、校長・副校長(教頭)も病院へ赴く。
- (4) 保護者を落ち着かせるために、最大限の努力をするとともに、誠意を尽くす心で臨む。
- (5) 報道関係者や外部者等への対応は、副校長(教頭)が行う。(発表文案の作成と点検)
- (6) 必要に応じ、善後策を協議する。校長、副校長(教頭)、事務長、教務、生指、保健、関係職員

## 2 学校内における生徒の事故 <放課後・部活動中>

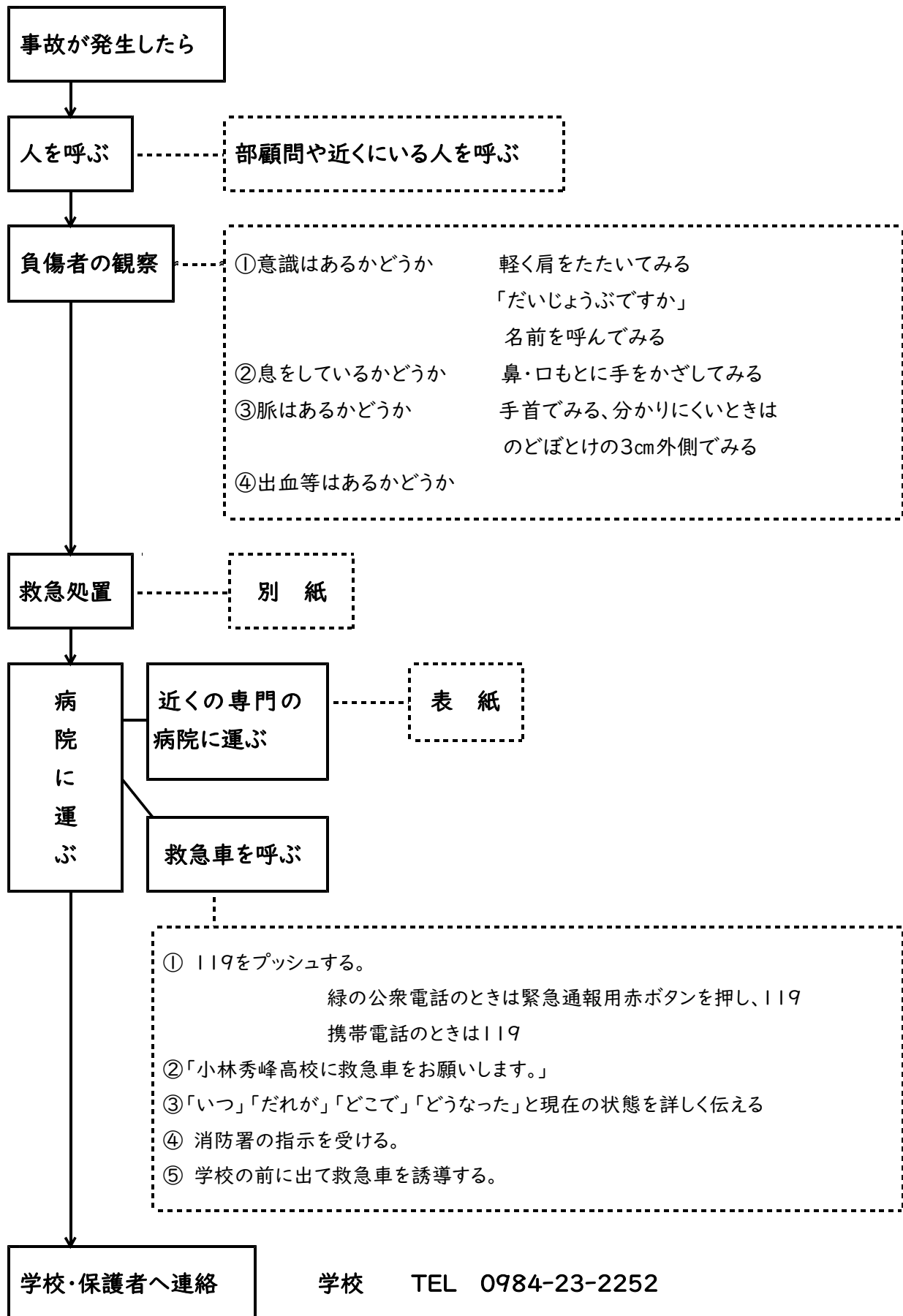
チェック ☒

|           |                                                                                                             |                 |
|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 事故発生<br>↓ |                                                                                                             | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 救命措置<br>↓ | 【部顧問】(又は生徒)が救命措置を実施し、同時に応援を求める。<br>【判断】⇒保健室へ搬送するか。その場で処置するか。<br>その場から離れない                                   | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 通 報<br>↓  | 必要に応じて119番通報<br>①学校名、②事故や容態の概要、③当事者の年齢(学年)、④性別、⑤氏名<br>⑥本校の電話番号、⑦救急車進入場所、⑧通報者の氏名など<br>☎ 0984-23-2252         | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 応急措置<br>↓ | 応急措置【養護教諭・保健主事・体育科職員・部顧問等】<br>★生徒の動揺を静める。                                                                   | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 病院搬送<br>↓ | 【生徒指導部等】救急車の誘導⇒【部顧問・担任等】が付き添う。                                                                              | 時刻の確認□<br>( : ) |
| 状況調査<br>↓ | 【副校長(教頭)】が状況把握者・生徒・部顧問を調査し【教務主任】が記録する。<br>[学級、氏名、性別、発生場所、時刻、発生状況、原因、経過、搬送先病院、<br>保護者名、保護者との連絡状況など] ⇒【校長】に報告 |                 |
| 状態報告<br>↓ | 病院から学校【副校長(教頭)】へ報告する。<br>[到着時刻、傷病名とその程度、治療の状況、病院へは誰が行っているかなど]                                               |                 |
| 諸機関への連絡   | 病院からの状態報告により、傷病の程度に応じ【校長】が判断する。                                                                             |                 |

### 留意事項

- (1) 保護者への連絡は、過剰な動揺を招かないように、次の事項を落ち着いて連絡する。  
[事故等の状況、傷病の程度、搬送先病院、必要に応じ保険証持参等]
- (2) 加害者がいる場合は、その保護者へも状況説明の連絡をする。
- (3) 必要に応じ、校長・副校長(教頭)も病院へ赴く。
- (4) 保護者を落ち着かせるために、最大限の努力をするとともに、誠意を尽くす心で臨む。
- (5) 報道関係者や外部者等への対応は、副校長(教頭)が行う。(発表文案の作成と点検)
- (6) 必要に応じ、善後策を協議する。校長、副校長(教頭)、事務長、教務、生指、保健、関係職員

### 3 日曜・祝祭日・長期休業中の事故発生時の対応 <生徒用>



#### 4 学校外における生徒の事故 <登校中・下校中>

チェック ☒

|           |                                                                                                                                                         |                                        |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 事故発生<br>↓ |                                                                                                                                                         | 時刻の確認□<br>( : )                        |
| 連絡受信<br>↓ | 学年、HR、氏名、性別、発生場所、時刻、事故や怪我の状況、<br>対応状況(搬送先病院名)等について、可能な限り聴取して記録する。<br>相手がいれば、氏名、年齢、性別、住所、電話番号等を聞く。<br>保護者への連絡は済んでいるかを確認する。                               | 時刻の確認□<br>( : )                        |
| 連絡体制<br>↓ | 受報者が職員の場合⇒【副校長(教頭)】に直ちに状況を報告する。⇒【校長】へ報告<br>【副校長(教頭)】⇒【担任・生徒指導主事・学年主任】へ連絡する。<br>⇒必要に応じ現場へ急行                                                              | 時刻の確認□<br>( : )                        |
| 状況確認<br>↓ | 【担任】は搬送先病院へ行く。状況を記録する。<br>★必要に応じ【校長・副校長(教頭)】も病院へ赴く。<br>★異常事態であることを忘れず、その感情を理解して対応する。<br>【生徒指導主事】は、事故現場に赴き、現場の確認と状況の聴取等を行う。<br>★必要に応じ【交通係】を伴う。必要事項を記録する。 | 時刻の確認□<br>( : )<br><br>時刻の確認□<br>( : ) |
| 状況報告<br>↓ | 【担任・養護教諭・生徒指導主事】<br>緊急を要する場合は、できるだけ早く学校【副校長(教頭)】へその旨連絡する。<br>その他の場合は、見舞いが終わってから、詳しい[発生場所、時刻、発生状況、原因、事故や怪我の状況、経過、搬送先病院、保護者の状況など]を【副校長(教頭)】へ報告する。         |                                        |
| 諸機関への連絡   | 事故の内容により、教育委員会への報告は【校長】が判断する。                                                                                                                           |                                        |

#### 留意事項

- (1) 保護者への連絡は、過剰な動揺を招かないように、次の事項を落ち着いて連絡する。  
[事故等の状況、傷病の程度、搬送先病院、必要に応じ保険証持参等]
- (2) 加害者がいる場合は、氏名、住所、電話番号、勤め先(可能な限り)を聞いておく。
- (3) 必要に応じ、校長・副校長(教頭)も病院へ赴く。
- (4) 重大事故の場合は、保護者を落ち着かせるために最大限の努力をする。
- (5) 報道関係者や外部者等への対応は、副校長(教頭)が行う。(発表文案の作成と点検)
- (6) 必要に応じ、善後策を協議する。校長、副校長(教頭)、事務長、教務、生指、保健、関係職員
- (7) 必要に応じ、臨時職員会議を開く。



## 5 学校外における職員の事故

チェック ☒

|                                       |                                                                                                                                                           |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事故発生<br>↓                             | 《当事者が電話をかけられる場合》                                                                                                                                          |
| 連絡受信<br>↓                             | 必ず、直接【副校長(教頭)】に連絡する。<br>氏名、発生時刻、場所、事故の状況、対応の状況、相手方等についての確認など。<br>時刻の確認□<br>( : )                                                                          |
| 助言指導<br>↓                             | 【副校長(教頭)】当事者の職員に、「誠意と責任」を持って最後まで事故の処理に対応することを指示するとともに、重大な事態に至ったとき、あるいは状況に変化があって連絡する必要が生じたとき、また、処理が一応終わったときなど、適宜連絡するよう指示・指導する。                             |
| 誠意対処<br>↓                             | 相手方が人命に関わる程度の重大な事故の場合<br>【校長・無理な場合は副校長(教頭)】が直ちに現場又は病院へ出向き、相手方を見舞う。<br>状況を把握する。<br>時刻の確認□<br>( : )                                                         |
| 状況整理<br>↓                             | 事故処理が完全に終わっていない段階では、事故の原因まで言及することができない ことを忘れず、双方の[氏名、性別、年齢、住所、電話番号等、発生場所、時刻、その場の状況、事故発生の状況、双方の怪我等の状況、搬送先病院、現在までの対応状況など]についてまとめる。<br>【副校長(教頭)】から【校長】に報告する。 |
| 諸機関への連絡 事故の内容により、教育委員会への報告は【校長】が判断する。 |                                                                                                                                                           |

|                                       |                                                                                                 |
|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事故発生<br>↓                             | 《当事者が電話をかけられない場合》<br>チェック <input checked="" type="checkbox"/>                                   |
| 連絡受信<br>↓                             | 受信者は、発生場所、状況等最大限の情報を得る努力をする。<br>可能な限り【副校長(教頭)】が電話口で応対する。特に搬送先病院・通報者名等の確認を行う。<br>時刻の確認□<br>( : ) |
| 現場確認<br>↓                             | 【校長・副校長(教頭)】事故発生現場に赴き、事故や現場の状況について確認する。                                                         |
| 容態確認<br>↓                             | 【校長・無理な場合は副校長(教頭)】搬送先病院へ行き、見舞い、容態を確認する。<br>時刻の確認□<br>( : )                                      |
| 状況報告<br>↓                             | 【副校長(教頭)】から【校長】に報告する。<br>[事故発生場所、時刻、容態、相手方の氏名・性別・年齢・住所、搬送先病院、現在までの対応状況など]についてまとめる。              |
| 諸機関への連絡 事故の内容により、教育委員会への報告は【校長】が判断する。 |                                                                                                 |

## 6 学校防災 <職員在勤中の火災>

チェック ☒

|               |                                                                                                                                                              |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 火災発生<br>↓     | 【現場近くの職員・生徒】初期消火及び連絡④【副校長(教頭)・事務長】⇒【校長】へ連絡<br>時刻の確認□<br>( : )                                                                                                |
| 避難通報          | 火災の状況に応じて避難経路と避難場所を確認し緊急放送を流す。<br>【事務】「ただ今〇〇で火災が発生しました。生徒のみなさんは先生の指示に従って避難場所〇〇へ避難してください」(校舎から退避するまで繰り返す)<br>時刻の確認□<br>( : )                                  |
| 火災通報          | 【教頭・事務長・発見者】⇒判断 火災の状況に応じて119番通報                                                                                                                              |
| 通報内容<br>(通報例) | ①学校名、②時間(つい先ほど)、③場所(校内の〇〇で)、④火災発生、<br>⑤消火出動依頼、⑥本校の電話番号、⑦通報者の氏名など<br>「私は小林秀峰高校の〇〇です。つい先ほど、校内の〇〇で火災が発生しました。<br>すぐ消火出動をお願いします。…」<br>時刻の確認□<br>( : )             |
| 避難誘導<br>↓     | 【担任・授業担当者】 避難指示によって無言で整然と避難させる。                                                                                                                              |
| 避難確認<br>↓     | 【担任】避難集合後直ちに人員点呼⇒【学年主任】に報告⇒【副校長(教頭)】に報告<br>【生徒指導部員】は可能な限り校内を回り、生徒の避難が終了しているか確認<br>【生徒指導主事】は、避難状況を【校長】に報告する。<br>生徒には、避難場所から勝手に離れないように指示する。<br>時刻の確認□<br>( : ) |
| 非常持出<br>↓     | 本校防災組織の搬出班は、各室の【火元取締責任者】の指示により搬出作業を行う。★消火活動の邪魔にならない範囲で行う。                                                                                                    |
| 救護<br>↓       | 【養護教諭・保健部員】は怪我人等がいる場合は、その処置に当たる。                                                                                                                             |
| 鎮火処理<br>↓     | 生徒の処置、搬出物の処置、現場検証の立合、報告書の準備など                                                                                                                                |
| 事情聴取          | 【校長・副校長(教頭)】が対応し、他の職員は校長の指示があるまで待機する。                                                                                                                        |

### 非常持出品

|                     |              |
|---------------------|--------------|
| 指導要録、学校沿革史、卒業証書授与台帳 | ← 事務・教務      |
| 学校日誌、休暇処理簿、出勤簿、公文書綴 | ← 副校長(教頭)・教務 |
| 保健日誌、健康診断票          | ← 保健室        |
| 職員履歴書、備品台帳、その他の証書類  | ← 事務         |
| 各教科・学科・部署での書類       |              |

## 7 学校防災 <職員等が不在中の火災>

チェック ☒

|                                                        |                                                                                                                            |                           |
|--------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 火災発生                                                   | 火災発生受信⇒副校長(教頭)に連絡<br>副校長(教頭)⇒【校長】へ連絡する。                                                                                    | 時刻の確認□<br>(      :      ) |
| 非常出勤<br>↓                                              | 【副校長(教頭)】は、【校長】の指揮の下、あんしんメールにより全職員に連絡し必要ならば出勤させる。                                                                          |                           |
| 非常持出<br>↓                                              | 可能な場合は、【集合した職員】で搬出作業を行う。<br>★消火活動に当たっている消防署現地監督者の指示(了解)を受け、判断は【校長】が行う。                                                     |                           |
| 鎮火後の<br>処 理<br><br>↓                                   | 鎮火後、又は搬出作業終了後直ちに、臨時職員会議を開き、次の事項を協議する。<br>① 前日の戸締り状況<br>② ガスなどの使用状況<br>③ 電気器具等の使用状況<br>④ その他の火気に関する状況<br>⑤ その他、現場の施設設備管理の状況 |                           |
| 事情聴取<br>↓                                              | 【校長・副校長(教頭)】が対応し、他の職員は校長の指示があるまで待機する。                                                                                      |                           |
| 関係諸機関連絡<br>【校長】の指示により、【副校長(教頭)・事務長】が連絡・報告する。 ⇒[※教育委員会] |                                                                                                                            |                           |

※教育委員会 人権同和教育課 生徒指導・安全担当

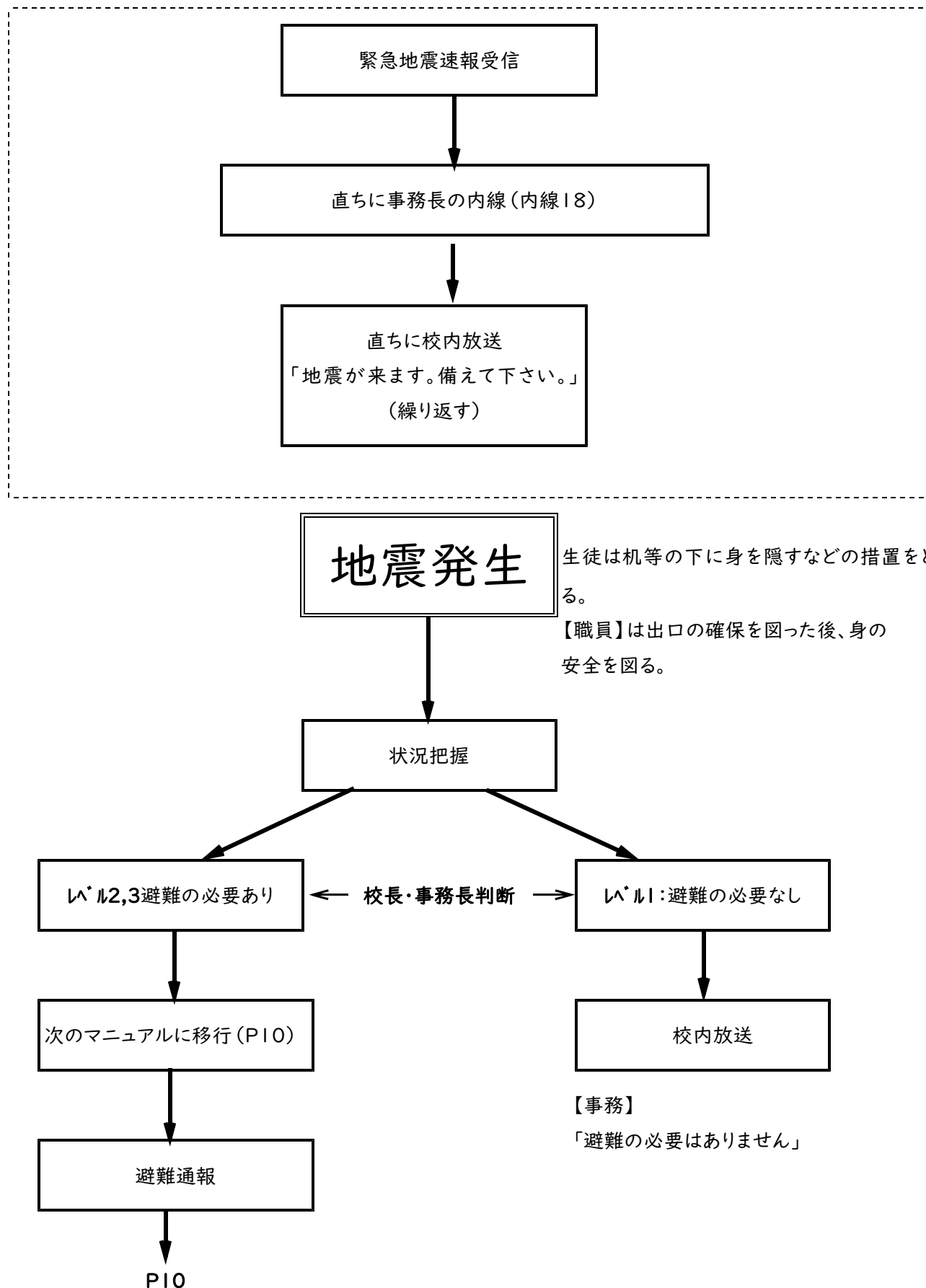
電話:0985-26-7238

FAX:0985-32-4476

0985-26-7252

## 8 学校防災 <職員在勤中の地震>

チェック ☒



〈前ページから〉

|                                                                                      |                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震発生<br>↓                                                                            | 生徒は机等の下に身を隠すなどの措置をとる。<br>【職員】は出口の確保を図った後、身の安全を図る。                                                                                                                               |
| 状況把握<br>↓                                                                            | 揺れが収まったら、避難路や落下物等の点検を行う。→【副校長(教頭)・事務長】へ報告する。                                                                                                                                    |
| 避難通報<br>(レベル2<br>以上)                                                                 | 【事務】放送設備が使用可能な場合は、次の内容の放送をする。<br>「揺れが収まったようです。避難路に従って避難場所〇〇へ避難してください。余震 による落下物など大変危険ですので、注意して整然と避難してください」(繰り返す)                                                                 |
| 火災通報                                                                                 | 【校長】⇒判断 火災が発生した場合は、状況に応じて副校長(教頭)、事務長が119番通報                                                                                                                                     |
| 通報内容<br>(通報例)<br>↓                                                                   | ①学校名 ②時間(つい先ほど) ③場所(校内の〇〇で) ④火災発生<br>⑤消火出動依頼 ⑥本校の電話番号 ⑦通報者の氏名など<br>「私は小林秀峰高校の〇〇です。つい先ほど、校内の〇〇で火災が発生しました。<br>すぐ消火出動をお願いします。…」<br>時刻の確認□<br>( : )                                 |
| 避難誘導<br>↓                                                                            | 【担任・授業担当者】避難指示によって無言で整然と避難させる。                                                                                                                                                  |
| 避難確認<br>↓                                                                            | 【担任】避難集合後直ちに人員点呼⇒【副校長(教頭)】に報告<br>【生徒指導部員】は可能な限り校内を回り、生徒の避難が終了しているか確認<br>【副校長(教頭)】は、避難状況を【校長】に報告する。<br>不明の生徒がいる場合は、必ず2名1組で搜索する。<br>生徒には、避難場所から勝手に離れないように指示する。<br>時刻の確認□<br>( : ) |
| 救 護<br>↓                                                                             | 【養護教諭・保健部員】怪我人等がいる場合は、その処置に当たる。                                                                                                                                                 |
| 生徒下校<br>(注意)<br>↓                                                                    | 【担任】は、出席簿(名票)に生徒名を自筆で記入させる。<br>下校経路の安全が確保されていることを確認して【校長】の指示の下で下校させる。<br>大規模震災で、生徒を保護者へ確実に引き渡す必要がある場合<br>【生徒引き渡しカード】を作成して、保護者の署名により、生徒を保護者に引き渡し、保護者と一緒に下校させる。                   |
| 善後策の<br>協議<br>↓                                                                      | 必要に応じて行う。                                                                                                                                                                       |
| 関係諸機関連絡 被害の状況、生徒の安全確保に対する措置と現在の状況について<br>【校長】の指示により、【副校長(教頭)・事務長】が連絡・報告する。 ⇒[※教育委員会] |                                                                                                                                                                                 |

※教育委員会 人権同和教育課 生徒指導・安全担当

電話:0985-26-7238

FAX:0985-32-4476

0985-26-7252

## 9 学校防災 <職員引率中の地震・津波>

チェック ☒

|                                                                                      |                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震発生<br>↓                                                                            | 生徒は近くの安全な場所に身を隠すなどの措置をとる。<br>【引率職員】は屋内であれば身の安全を図りつつ出口の確保を図る。                                                                                                                                                  |
| 状況把握<br>↓<br>1次避難                                                                    | 揺れが収まったら、避難路の状況を点検する。安全を図りつつ状況の把握に努める。<br>生徒に「揺れが収まったようです。安全な避難路は〇〇の方向です。その方向を経て1次避難場所〇〇へ避難します。余震による落下物など大変危険ですので、注意して整然と避難しましょう。津波予報の確認をしますから、先生から離れないでください。」と呼びかける。(繰返す)<br>1次避難場所に到着し、生徒代表に人員点呼をさせ、報告を受ける。 |
| 津波予報<br>確認                                                                           | 地震発生後、速やかに防災ラジオ・テレビ・携帯ワンセグ放送等により津波予報を確認する。<br><b>注意報・警報の発表あり</b> →到達予想時刻、予想される津波の高さ等<br>生徒に「大津波警報、津波警報(注意報、予報)が出ました。予想される津波の高さ〇m。第1波の到達予想時刻は〇〇:〇〇です。」と呼びかける。(繰返す)                                             |
| 避難指示<br>避難誘導<br>↓<br>2次避難                                                            | 津波の規模や到達予想時刻等の発令内容に応じて、津波に対応した2次避難場所へ誘導する。<br>生徒に「この状況で一番安全な場所は〇〇です。周囲に気を付けながら、安全に、各自で急いで避難しましょう。避難場所に着いたら点呼をします。」と呼びかける。(繰返す)                                                                                |
| 避難確認<br>↓<br>安否報告                                                                    | 【引率職員】2次避難集合後、直ちに人員点呼⇒(【引率責任者】に報告)<br>【引率職員】(【引率責任者】)は、避難状況を【副校長(教頭)】に報告する。<br>生徒には、避難場所から勝手に離れないように指示する。同時に携帯電話やメールが使えれば、保護者に安否を知らせるよう指示する。時刻の確認□ ( : )                                                      |
| 情報収集<br>↓<br>帰還<br>または<br>避難滞在                                                       | 旅行先からすぐに帰還できるか、できない場合の滞在先はどうするか、情報を集める。見通しを立て、【副校長(教頭)】に報告し指示を仰ぐ。【副校長(教頭)】は家庭連絡を行う。<br>・旅行先から学校・地元への帰還がすぐにできるか、情報収集を行う。<br>テレビ・ラジオ・防災無線等によりその後の余震・津波予報や交通機関の運行状況などを確認する。<br>・旅行先の地域の避難所に関する情報を収集する。           |
| 帰還<br><br>生徒下校<br>(注意)<br>↓                                                          | なるべく早期の帰還を図る。その間、必要があり可能ならば【副校長(教頭)】は現場に出向き、直接指揮を執る。<br>大規模震災で、生徒を保護者へ確実に引き渡す必要がある場合<br>[生徒引き渡しカード]を作成して、保護者の署名により、生徒を保護者に引き渡し、保護者と一緒に下校させる。                                                                  |
| 善後策の<br>協議<br>↓                                                                      | 必要に応じて行う。                                                                                                                                                                                                     |
| 関係諸機関連絡 被害の状況、生徒の安全確保に対する措置と現在の状況について<br>【校長】の指示により、【副校長(教頭)・事務長】が連絡・報告する。 ⇒[※教育委員会] |                                                                                                                                                                                                               |

※教育委員会 人権同和教育課 生徒指導・安全担当

電話:0985-26-7238

FAX:0985-32-4476

0985-26-7252

## 10 学校防災 <職員・生徒が不在中の地震>

チェック ☒

|                           |                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地震発生<br>↓                 | 重大な災害をもたらす地震の場合で、学校にも被害が予想されるとき。                                                                                                                                                                    |
| 被害状況<br>確認<br>↓           | 【校長・副校長(教頭)・事務長】が学校に来て、被害状況を把握する。<br>地域の被災状況も可能な限り把握する。                                                                                                                                             |
| 職員連絡<br><br>(内容)<br><br>↓ | 【副校長(教頭)】⇒【全職員】 不在などの場合は次へ連絡する。<br>あんしんメール並びに緊急電話連絡網により、可能な限り職員の出勤を要請するとともに、各職員の被災状況の把握にも努める。<br>連絡内容:『この度の地震に際し、善後策を協議して対策を講ずる必要がありますので、可能な限り出勤してください。また、先生方の被災状況について、報告の必要があるものについては学校に報告してください。』 |
| 生徒確認<br><br>(内容)<br><br>↓ | 【担任】⇒生徒への連絡(グーグルクラスルームやクラッシー等)<br>生徒の安全と被災の状況を確認する。<br>連絡内容:『今の地震で、怪我などしていませんか。被害の状況と連絡先などを学校に知らせてください。』                                                                                            |
| 関係諸機関の連絡                  | 【校長】は、学校及び生徒の被災状況を県教育委員会へ報告する。<br>当面考えている対応策についても概略を伝えておく。                                                                                                                                          |
| 緊急対策<br>会議                | 臨時職員会議を開き、次の事項を協議する。<br>① 現在の状況確認<br>② 情報収集方法<br>③ 情報伝達手段の確保<br>④ 本校が避難場所になった場合の学校管理体制<br>⑤ 当面の生徒への措置<br>⑥ 出勤不可能な職員の措置<br>⑦ その他                                                                     |

## 11 学校防災 <風水害発生>

チェック ☒

|                           |                                                                                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 風水害発生<br><br>↓            | <p>【校長】事前に重大な災害が予想される場合には、生徒へ自宅待機や下校を命じ、</p> <p>【全職員】は施設設備等への被害防止のための措置を講ずる。</p> <p>【校長】は【担任】を通して生徒へ下校を命じる場合には、次の事項に配慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 生徒の下校の時機</li> <li>② 下校の方法</li> <li>③ 安全指導の内容</li> <li>④ 保護者への連絡</li> </ul> |
| 被害状況確認<br>↓               | <p>【校長・副校長(教頭)・事務長】が学校に来て、被害状況を把握する。</p> <p>地域の被災状況も可能な限り把握する。</p>                                                                                                                                                                                |
| 職員連絡<br><br>(内容)<br><br>↓ | <p>【副校長(教頭)】⇒【全職員】 不在などの場合は次へ連絡する。</p> <p>あんしんメール並びに緊急電話連絡網により、可能な限り職員の出勤を要請するとともに、各職員の被災状況の把握に努める。</p> <p>「連絡内容」：『この度の風水害に際し、善後策を協議して対策を講ずる必要がありますので、可能な限り出勤してください。また、先生方の被災状況について、報告の必要があるものについては学校に報告してください。』</p>                              |
| 生徒確認<br><br>(内容)<br><br>↓ | <p>【担任】⇒生徒への連絡（グーグルクラスルームやクラッシー等）</p> <p>生徒の安全と被災の状況を確認する。</p> <p>連絡内容：『今の風水害で、生徒本人は怪我などしていませんか。被害の状況と連絡先などを学校に知らせてください。』</p>                                                                                                                     |
| 関係機関への連絡<br><br>↓         | <p>【校長】は、学校及び生徒の被災状況を教育委員会 人権同和教育課へ報告する。</p> <p>当面考えている対応策についても概略を伝えておく。</p> <p>指定避難場所としての受け入れ体制については、地域との連携に配慮する。</p>                                                                                                                            |
| 緊急対策会議                    | <p>臨時職員会議を開き、次の事項を協議する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在の被災状況の確認</li> <li>② 不足の情報収集方法</li> <li>③ 伝達手段の確保</li> <li>④ 本校が避難場所になった場合の学校管理体制</li> <li>⑤ 当面の生徒への措置</li> <li>⑥ 出勤不可能な職員の措置</li> <li>⑦ その他</li> </ul>                     |



## <風水害対応メモ>

### 1 現在発表されている気象情報

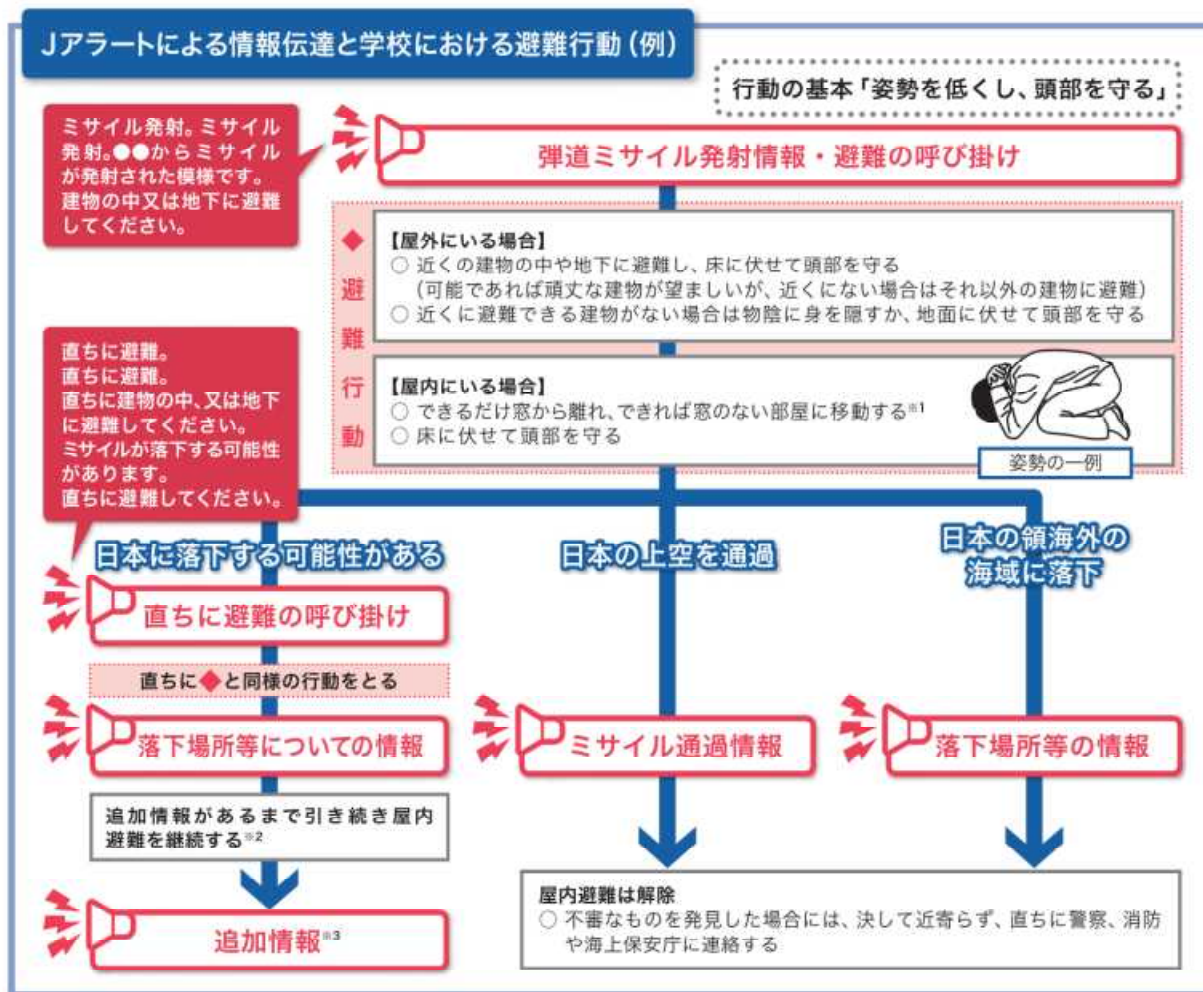
|   |   |   |   |   |   |    |
|---|---|---|---|---|---|----|
| 年 | 月 | 日 | 曜 | 時 | 分 | 現在 |
|---|---|---|---|---|---|----|

|                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発令されている<br>警報・注意報              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 台風の場合の情報                       | ・位置（東経                      度、北緯                      度）<br>・気圧（                                      hPa）<br>・最大風速（                              m）<br>・進行経路と速度（                      ）へ（                      Km/h）<br>・最大接近予測時刻（              月              日                      時頃）<br><br>※関係機関やインターネットから最新情報を取り寄せること |
| テレビ等のニュース<br>から得られる今後の<br>予測状況 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

### 2 各地区の現在の通学路状況

| 地 区 名 | 予想される災害とその場所 |
|-------|--------------|
|       |              |
|       |              |
|       |              |
|       |              |
|       |              |
|       |              |

## 12 学校防災 <弾道ミサイルに係る対応>



※1「弾道ミサイル発射情報・避難の呼び掛け」の時点で、すぐに避難できるところに頑丈な建物や地下があれば、直ちにそちらに避難してください。ただし、校舎の状況や児童生徒等の避難経路など各学校の実情を十分に踏まえて、例えばその場に留まることも考慮に入れるなど、安全な避難行動がとれるようあらかじめ検討してください。

※2「ミサイルが○○地方に落下した可能性がある」等の情報があつた場合は、追加情報の伝達があるまで屋内避難を継続し、テレビ、防災ラジオ、インターネット等を通じて情報収集します。また、行政からの指示があればそれに従って落ち着いて行動します。もし、近くにミサイルが着弾した場合は、弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲等が異なりますが、次のように行動します。

● 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難する。

● 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

※3 その後の状況に応じて、屋内避難を解除するような情報、又は引き続き屋内避難をする。あるいは別の地域へ避難するといった情報が伝えられます。

### 13 学校内の事故 <いじめ・校内暴力等>

チェック ☒

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 発見<br>発見<br>発生<br>↓                       | <p>このような事故については【全職員】が常に、発見に努めなければならない。</p> <p style="text-align: right;">期日・時間の確認□</p> <p style="text-align: center;">(    月    日            :    )</p>                                                                                                                                                                |
| 報告<br>↓                                   | <p>いじめ、校内暴力等が認められる場合は、直ちに【生徒指導主事】【副校長(教頭)】【校長】に報告しなければならない。</p>                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 実態調査<br>↓                                 | <p>【担任】【副担任】は被害者、加害者双方に対して、交友の実態、言い分、意識等について聴取し、その全容を明らかにする努力をする。</p> <p>その際、特に被害者と思われる者には気を配り、すべてを汲み取り理解していくよう最大の努力をする。</p> <p>いじめの場合、「いじめられる方にも問題がある」という認識は持たない。</p> <p style="text-align: right;">期日・時間の確認□</p> <p style="text-align: center;">(    月    日            :    )</p>                                    |
| 各会議の<br>開催<br>↓                           | <p>必要に応じて、運営委員会、職員会議、生徒指導委員会、教育相談委員会(いじめ不登校対策委員会)、同和教育推進委員会等を開催する。</p> <p>① 担任の報告 ② 実態の分析と考察 ③ 原因 ④ 今後の指導の在り方<br/>⑤ 全職員への協力体制 ⑥ 保護者への連絡事項並びに協力要請<br/>⑦ これまでに実施したこの問題に対する研修や取ってきた対策等々</p> <p>について協議する。</p> <p style="text-align: right;">期日・時間の確認□</p> <p style="text-align: center;">(    月    日            :    )</p> |
| 全職員・<br>保護者へ<br>の協力要<br>請<br>↓            | <p>協議された指導方法に沿って【担任】、【生徒指導主事】、【生徒指導部】、【全職員】でそれぞれの立場で指導し、【担任】から保護者へも協力を要請する。</p> <p>必要に応じて[全校集会]を開催し、全生徒に呼びかける。</p>                                                                                                                                                                                                     |
| <p>関係諸機関の連絡            【校長】の判断によって行う。</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |

## 14 学校内の事故 〈不審者進入の防止〉

正当な理由のない者には、丁寧に校地・校舎内及び周辺からの退去を求める。このとき、ほかの教職員に連絡して協力を求め、複数人での対応を基本とする。退去に応じた場合でも、再び侵入するおそれがないかを見届ける。また、再び侵入しそうになった場合、凶器を持っていることが分かった場合、暴力的な言動をした場合など退去に応じない場合は、速やかに警察へ通報する。

### 【1】校門

- ・ 校門の開閉時間を定め、警備員が解錠・施錠する。
- ・ 外来者の出入りについては、原則、正門からのみとする。事前に連絡し、正門以外から入校する場合は、入校後、速やかに事務室前に向かい、所定の帳簿に必要事項を記入する。

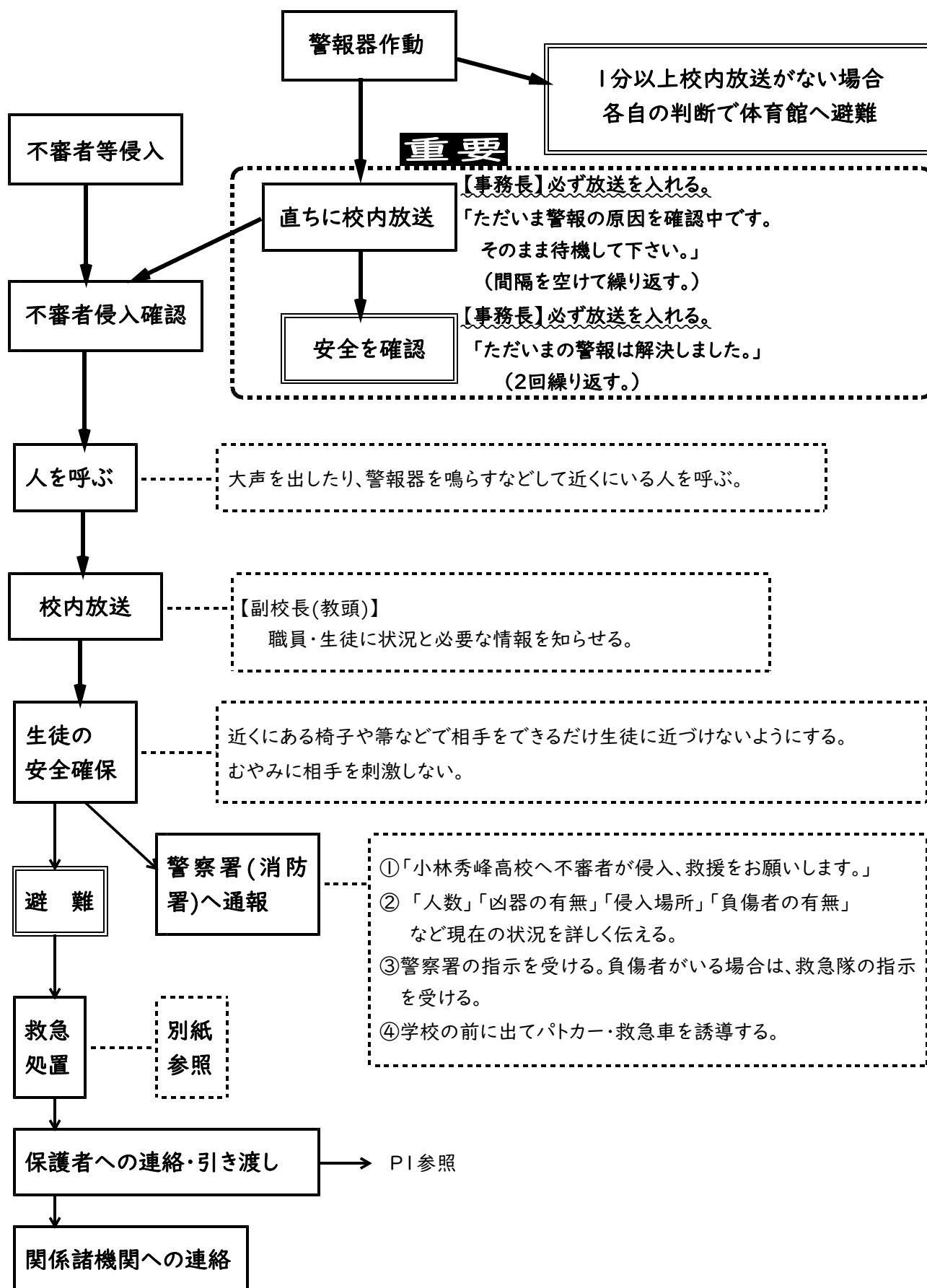
### 【2】校門から校舎入口

- ・ 外来者の駐車は、職員室や校舎入口（事務室）から見える表示のある場所を指定する。
- ・ 校舎入口までの外来者の動線については、職員室や校舎入口（事務室）から確認できるルートのみとし、不審な動き等があれば、基本的に複数人で即、対応する。

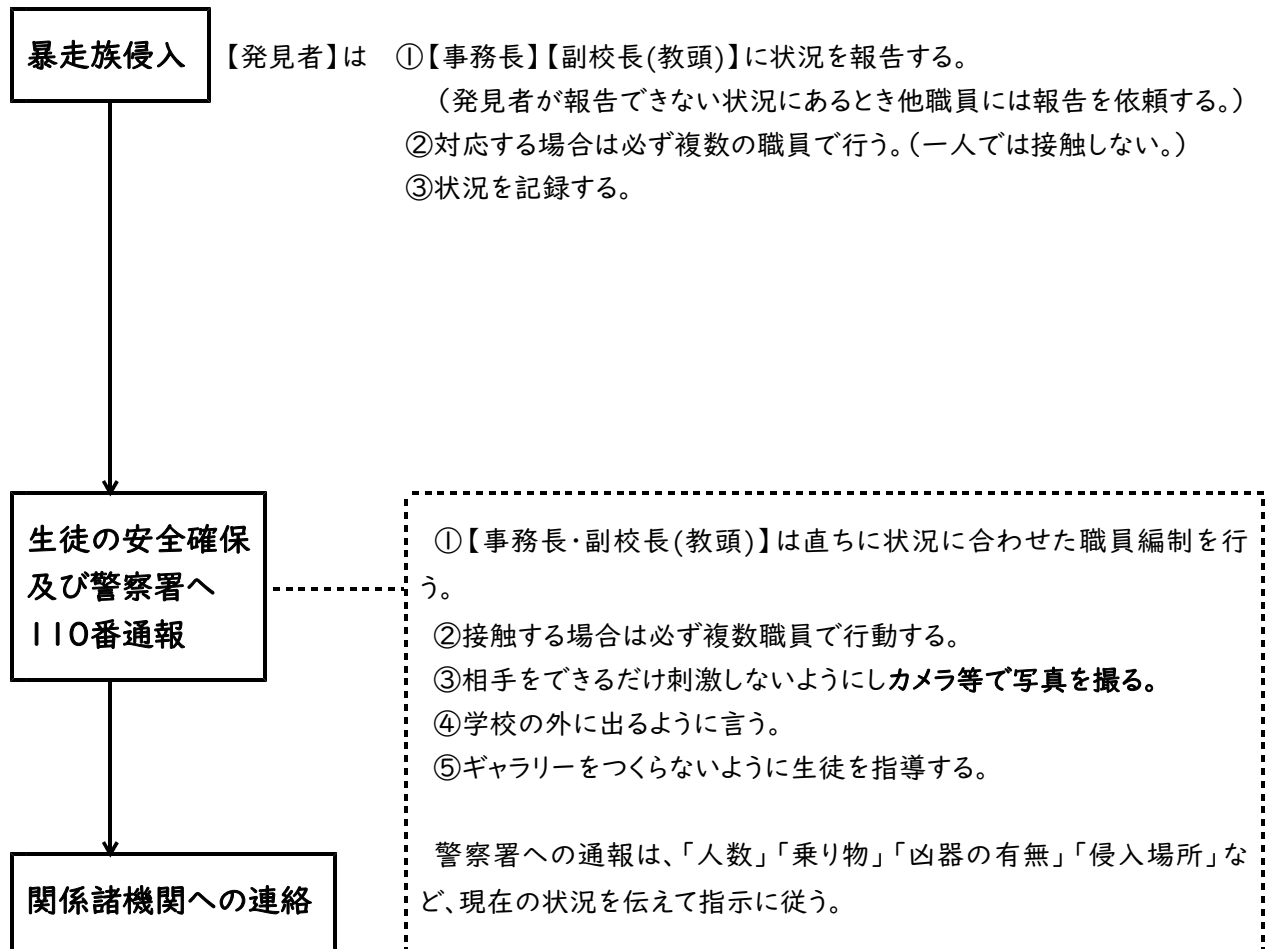
### 【3】校舎への入口

- ・ 外来者は必ず事務室前の帳簿に入校時間、事業所名、氏名、用件を記入する。校内では入校許可証を首から下げ、所定の用件が済み次第、帳簿に退校時間を記入し、速やかに退校する。

## <不審者の侵入>



## <暴走族の侵入>



## 15 職員・生徒の健康管理 <感染症・食中毒発生>

チェック ☒

### 1 職員が罹患した場合

|                |                                                                                        |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| 感染症・食中毒発生<br>↓ | 感染症・食中毒と判明したならば、速やかに状況を【副校長(教頭)】へ報告する。<br>また【保健主事・養護教諭】にも連絡する。                         |
| 状況確認<br>↓      | 数日間に接触した者へ連絡及び注意を伝える。                                                                  |
| 処置             | 医師の診断を受け、必要に応じて診断書を取り【校長】へ提出する。<br>完治又は他人へ感染がないと医師の判定が出るまでは、自宅で治療・待機する。                |
| 関係機関への連絡       | 感染症が報告された場合や食中毒が集団的に発生した場合には、【校長】は県教育委員会及び小林保健所等へ、【保健主事・養護教諭】は学校医へ速やかに連絡し、患者の措置に万全を期す。 |

### 2 生徒が罹患した場合

|                |                                                                                                                                                                |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感染症・食中毒発生<br>↓ | 感染症・食中毒と判明又は疑いがある場合には、保護者は自主的に生徒を欠席させ、状況を【担任】に連絡する。(徹底するよう事前に十分指導しておく)<br>【担任】は速やかに【副校長(教頭)】へ報告し、また【保健主事・養護教諭】にも連絡する。                                          |
| 状況確認<br>↓      | 【担任】は数日間に接触した者を確認し、連絡及び注意を伝えて様子を見る。                                                                                                                            |
| 処置<br>↓        | 医師の診断を受けさせ、所定の用紙を【担任】へ提出させる。<br>完治又は他人へ感染がないと医師の判定が出るまでは、自宅で治療・待機させる。                                                                                          |
| 他の生徒への対応<br>↓  | 【担任・部顧問・保健主事・養護教諭】は、罹患した生徒の学級や部活動の生徒など数日間に接触した者へ、速やかに連絡及び注意を与え、健康状況を観察させる。<br><br>【保健主事・養護教諭】は、必要に応じて生徒・保護者への対応策をプリント等で指示し、罹患防止に努める。                           |
| 関係機関への連絡<br>↓  | 【校長】伝染病が報告された場合や食中毒が集団的に発生した場合には、速やかに、県教育委員会(学校等欠席者・感染情報システム※不通の場合はスポーツ振興課)及び小林保健所等へ連絡する。<br><br>【保健主事・養護教諭】は学校医へ連絡し、患者の措置に万全を期す。<br>【副校長(教頭)・事務長】マスコミへの対応を行う。 |
| 緊急対策会議         | 臨時職員会議を開き、原因の究明、当面の対応などについて協議する。                                                                                                                               |

※教育委員会 スポーツ振興課 健康教育担当

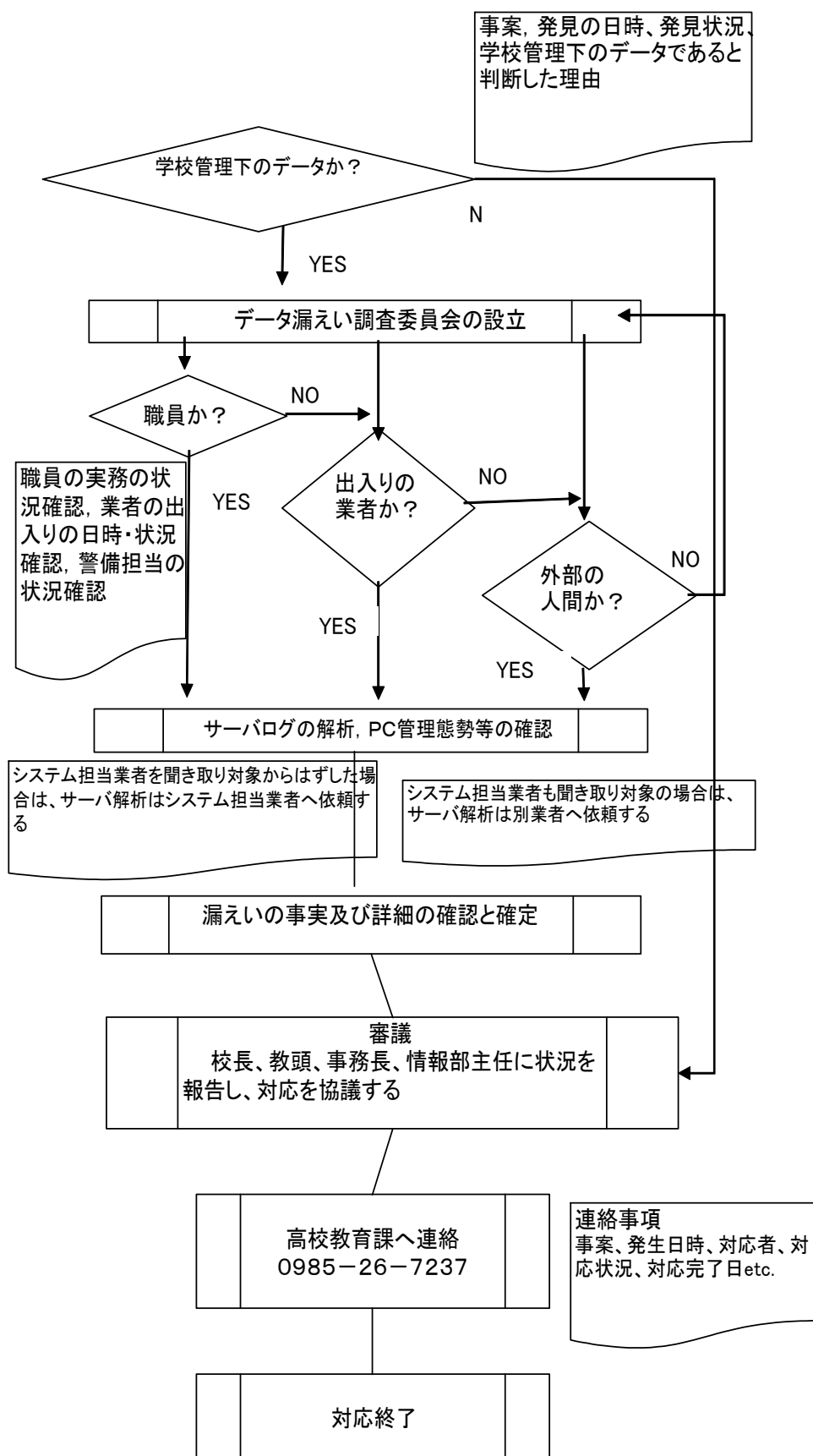
電話:0985-26-7248

FAX:0985-26-7339

0985-26-7247

## 16 データの漏えいがあったときの対応手順

宮崎県教育情報通信ネットワーク(教育ネットひむか)システムにおける緊急時対応手順





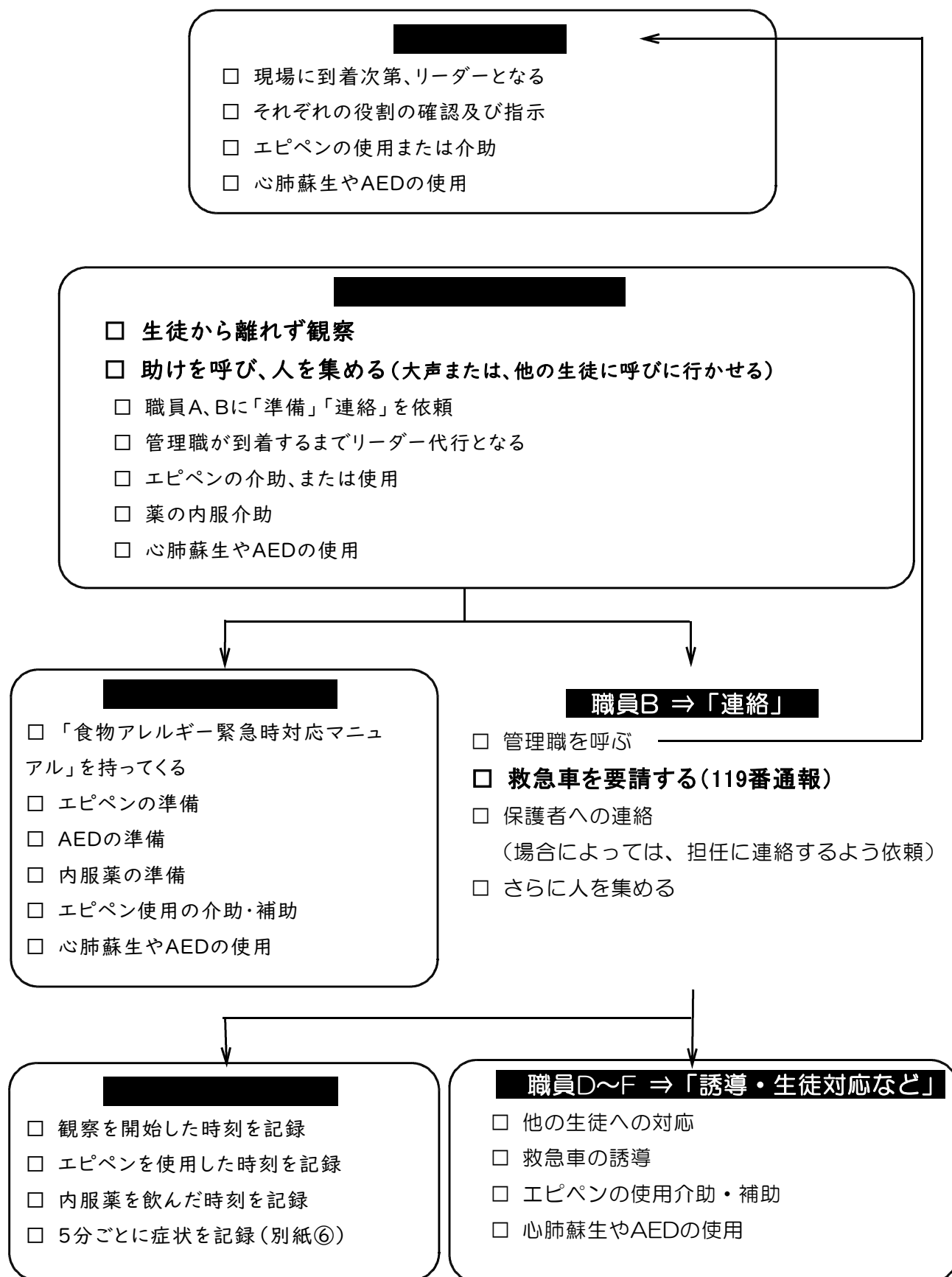
## 17 事故発生（アレルギー発症）時の対応

・授業時以外の部活動時等については、マニュアルに準じるも臨機応変に対応

| 第一発見者                                                                                                | 職 員                                                                                                                               | 管理職                                                                                |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 意識・呼吸などの確認                                                                                           |                                                                                                                                   |                                                                                    |
| 生徒数名に、一番近くの職員と職員室、保健室に応援を呼びに行かせる<br>(出来るだけ職員を集める)                                                    | 第一報を受けた者(A)は、周囲に知らせ「食物アレルギー時緊急対応マニュアル」・AEDを持って現場へ →「準備係」                                                                          |                                                                                    |
| ★生徒から目を離さない、一人にしない                                                                                   | 二番目に到着した者(B)は、被災生徒の学年・学級・氏名を確認し、管理職への連絡、救急車の要請・他職員への応援要請・保護者への連絡をする →「連絡係」                                                        |                                                                                    |
| 職員A・Bに「準備」「連絡」を依頼<br>(管理職が到着するまでのリーダー代行)                                                             | 状況を説明し、落ち着いて学校へ来てもらうよう連絡する。居住地によっては搬送先に来てもらう場合もあるので、再度連絡することを伝える(連絡先を把握しておく)                                                      | 現状を把握し、リーダーとして全体指示に当たる                                                             |
| エピペン・内服薬の確認、手元に準備                                                                                    |                                                                                                                                   |                                                                                    |
| <div> <div>緊急性が高いアレルギー症状があるか？</div> <div>※5分以内に判断する</div> </div>                                     |                                                                                                                                   |                                                                                    |
| ～ 緊 急 性 が 高 い 場 合 ～                                                                                  |                                                                                                                                   |                                                                                    |
| エピペンの介助(または使用)<br>・体を動かさないよう安静に、救急隊を待つ<br>・可能ならば、内服薬を飲ませる(介助)<br>(反応がなく、呼吸がない場合)<br>・心肺蘇生やAEDの使用⇒別紙⑤ | 三番手(C)は、観察を記録⇒別紙⑥<br>D:周囲の生徒を現場から移動させる(生徒対応)<br>状況を目撃した生徒への聞き取りなどを行い情報収集をする。精神面への配慮も行う<br>養護教諭は現場に到着しても、A～Fに加わらず、第二の観察者として現場を優先する | エピペン使用判断・指示<br>救急車を要請(指示)する⇒別紙④<br>学校名、生徒の状況(意識・呼吸の有無、エピペン使用有無)、詳細な場所などを、落ち着いて連絡する |
| 救急隊員の現場到着                                                                                            |                                                                                                                                   | 委員会への第1報                                                                           |
| 救急隊員への申し送り<br>保護者への状況説明(学校もしくは搬送先)                                                                   | E:救急車の誘導(事故現場を考えてどこから誘導したらいいか判断する)<br>F:エピペン介助の補助・心肺蘇生補助                                                                          | 今後の対応について協議・指示                                                                     |
| 救急車への随行(担任も)                                                                                         | 生徒管理等                                                                                                                             | 臨時職員会議の設定                                                                          |

参考資料として別紙①～⑥を別添

## 校内での役割分担



## 緊急性の判断と対応

◆アレルギー症状があったら5分以内に判断する！

◆迷ったらエピペンを打つ！ただちに119番通報をする！

### 【全身の症状】

- ☐ ぐったり
- ☐ 意識もうろう
- ☐ 尿や便をもらす
- ☐ 脈が触れにくい又は不規則
- ☐ 唇や爪が青白い

### 【呼吸器の症状】

- ☐ 喉や胸が締め付けられる
- ☐ 声がかすれる
- ☐ 犬が吠えるような咳
- ☐ 息がしにくい
- ☐ 持続する強い咳き込み
- ☐ ゼーゼーする呼吸

### 【消化器の症状】

- ☐ 持続する強い  
(我慢できない) 腹痛
- ☐ 繰り返し吐き続ける

1つでもあてはまる場合

ない場合

### ①ただちにエピペンを使用する！

エピペンの使い方⇒別紙③

### ②救急車を要請する(119番通報)

救急要請のポイント⇒別紙④

### ③その場で安静にする(下記の体位を参照)

※立たせたり、歩かせたりしない！

### ④その場で救急隊を待つ

### ⑤可能なら内服薬を飲ませる

◆反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う

⇒別紙⑤

内服薬を飲ませる



保健室、または安静にできる  
場所へ移動する(必ず付き添う)



5分ごとに症状を観察し、症状  
チェックシート(別紙⑥)に  
従い判断し対応する



緊急性の高いアレルギー症状の  
出現には特に注意する

### 【 安静を保つ体位 】

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため仰向けで足を15～30cm  
高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、  
体と顔を横に向ける

呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を  
起こし後ろに寄りかからせる

## エピペンの使い方

◆ 声に出して、周囲の職員と確認しながら、行う

### ① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け  
エピペン®を取り出す

### ② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを  
下に向け、利き手で持つ

**“グー”で握る!**

### ③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

### ④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン®の先端  
(オレンジ色の部分)を軽くあて、  
“カチッ”と音がするまで強く押し  
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!  
押しつけたまま5つ数える!**

### ⑤ 確認する



使用前 使用後

エピペン®を太ももから離しオレ  
ンジ色のニードルカバーが伸び  
ているか確認する

**伸びていない場合は「④に戻る」**

### ⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、  
マッサージする

### 介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を  
しっかり抑え、動かないように固定する

### 注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの付け根と膝の中央部で、かつ  
真ん中 (A) よりやや外側に注射する

#### 仰向けの場合



#### 座位の場合



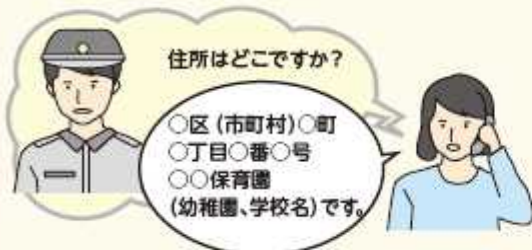


## 救急要請(119番通報)のポイント

### ◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



#### ①救急であることを伝える

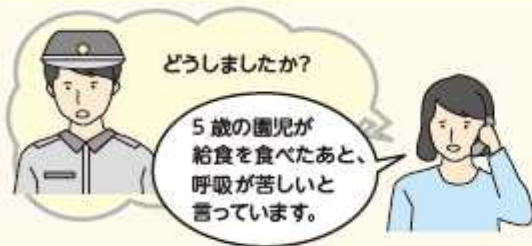


#### ②救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名をあらかじめ記載しておく

小 林 市 水 流 迫 6 6 4 - 2  
小 林 秀 峰 高 等 学 校

です



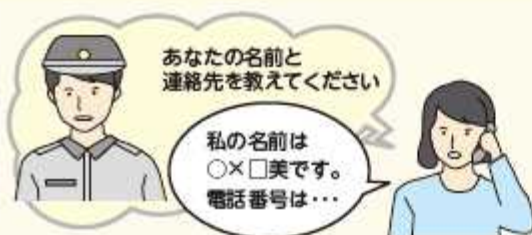
#### ③「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」をわかる範囲で伝える

**エピペン®の処方やエピペン®の使用の有無を伝える**

生徒の名前は( )です。( 歳)の( 男子 / 女子 )です。

生徒は( )アレルギーがあり、

- エピペンを処方 ☐ されていて、注射しました ☐ されていて、注射していません ☐ していません
- ・意識は ☐ あります ☐ ありません
- ・呼吸は ☐ 普通にしています ☐ 苦しそうです ☐ していません
- ・じんましんは ☐ 全身に出ています ☐ 体の一部に出ています
- ・嘔吐や下痢は ☐ あります ☐ ありません



#### ④通報している人の氏名と連絡先を伝える

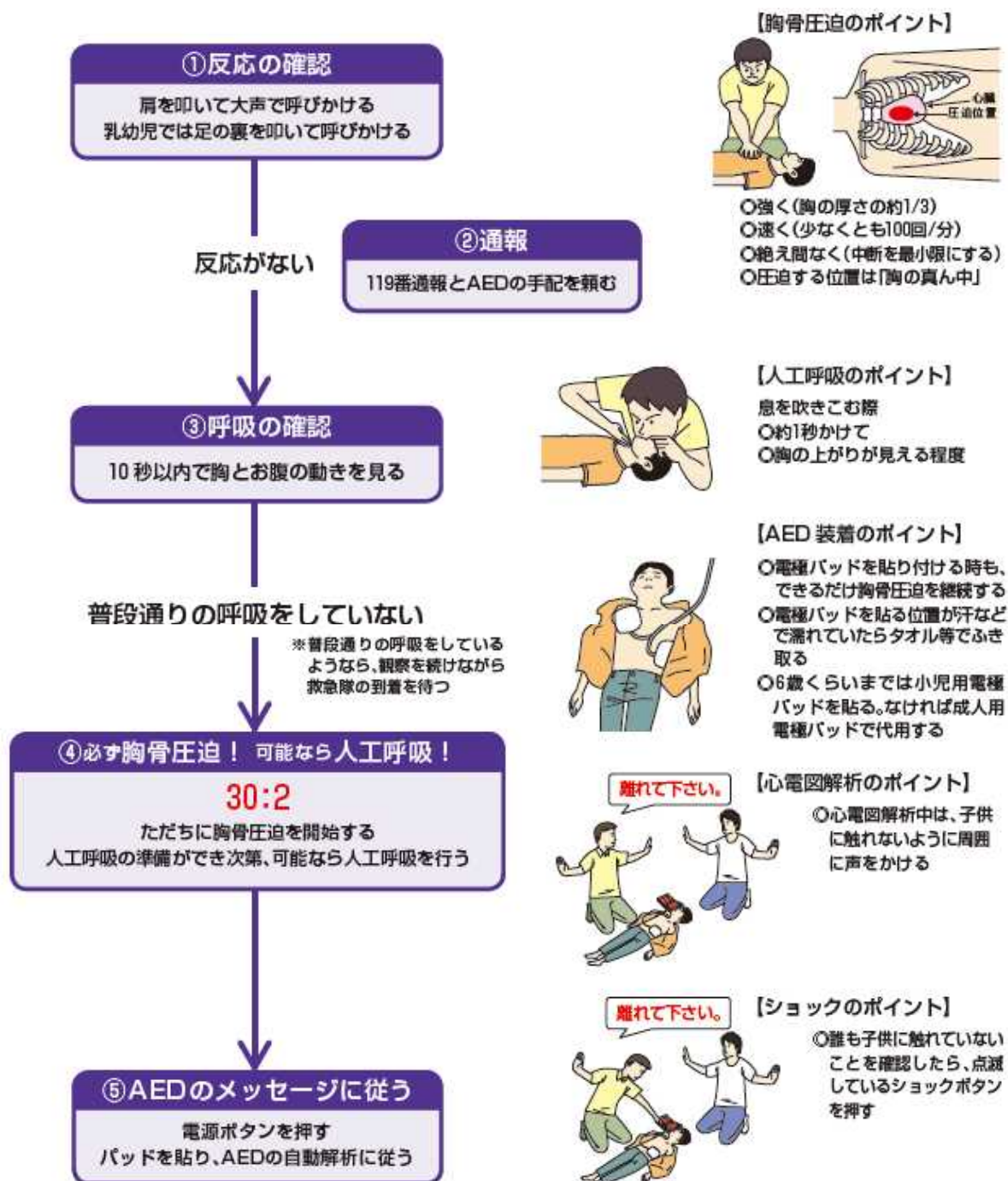
**119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える**

- 通報時に伝えた連絡先の電話は、常に繋がるようにしておく
- 必要に応じて救急隊が到着するまでの応急手当の方法等を聞く

## 心肺蘇生とAEDの手順

◆強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を！

◆救急隊に引き継ぐまで、または生徒に普段どおりの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける



## 症状チェックシート

◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに、注意深く症状を観察する

◆☐ の症状が1つでも当てはまる場合、エピペンを使用する

(内服を飲んだ後にエピペンを使用しても、問題ない)

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                             |                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 観察を開始した時刻( 時 分) 内服した時刻( 時 分) エピペン®を使用した時刻( 時 分)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                             |                                                                          |
| 全身の<br>症状                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <input type="checkbox"/> ぐったり<br><input type="checkbox"/> 意識もうろう<br><input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす<br><input type="checkbox"/> 脈が触れにくいまたは不規則<br><input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い                                            |                                                                                                             |                                                                          |
| 呼吸器<br>の症状                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる<br><input type="checkbox"/> 声がかすれる<br><input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳<br><input type="checkbox"/> 息がしにくい<br><input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み<br><input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸 | <input type="checkbox"/> 数回の軽い咳                                                                             |                                                                          |
| 消化器<br>の症状                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | <input type="checkbox"/> 持続する強い(がまんできない)お腹の痛み<br><input type="checkbox"/> 繰り返し吐き続ける                                                                                                                                           | <input type="checkbox"/> 中等度のお腹の痛み<br><input type="checkbox"/> 1～2回のおう吐<br><input type="checkbox"/> 1～2回の下痢 | <input type="checkbox"/> 軽いお腹の痛み(がまんできる)<br><input type="checkbox"/> 吐き気 |
| 目・口・<br>鼻・顔面<br>の症状                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <input type="checkbox"/> 顔全体の腫れ<br><input type="checkbox"/> まぶたの腫れ                                                                                                                                                            |                                                                                                             |                                                                          |
| 皮膚の<br>症状                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | <input type="checkbox"/> 目のかゆみ、充血<br><input type="checkbox"/> 口の中の違和感、唇の腫れ<br><input type="checkbox"/> くしゃみ、鼻水、鼻づまり                                                                                                           |                                                                                                             |                                                                          |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: red; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <b>上記の症状が<br/>1つでもあてはまる場合</b> </div> <div style="background-color: yellow; padding: 10px; text-align: center;"> <b>1つでもあてはまる場合</b> </div> <div style="background-color: blue; padding: 10px; text-align: center;"> <b>1つでもあてはまる場合</b> </div> </div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                             |                                                                          |
| <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%; border: 2px solid red; padding: 10px;"> <p>①ただちにエピペン®を使用する<br/>           ②救急車を要請する(119番通報)<br/>           ③その場で安静を保つ<br/>           (立たせたり、歩かせたりしない)<br/>           ④その場で救急隊を待つ<br/>           ⑤可能なら内服薬を飲ませる</p> <p style="background-color: red; color: white; padding: 2px; text-align: center;"><b>B 緊急性の判断と対応 B-2参照</b></p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">ただちに救急車で<br/>医療機関へ搬送</p> </div> <div style="width: 30%; border: 2px solid yellow; padding: 10px;"> <p>①内服薬を飲ませ、エピペン®を準備する<br/>           ②速やかに医療機関を受診する<br/>           (救急車の要請も考慮)<br/>           ③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、<input type="checkbox"/> の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する</p> <p style="text-align: center; color: yellow; font-weight: bold;">速やかに<br/>医療機関を受診</p> </div> <div style="width: 30%; border: 2px solid blue; padding: 10px;"> <p>①内服薬を飲ませる<br/>           ②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する</p> <p style="text-align: center; color: blue; font-weight: bold;">安静にし、<br/>注意深く経過観察</p> </div> </div> |                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                             |                                                                          |



## 18 事故発生（低血糖）時の対応

・授業時以外の部活動時等については、マニュアルに準じるも臨機応変に対応

| 第一発見者                                                                                                                              | 職 員                                                                                                  | 担任（副担任）                                                                             | 管理職                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| <p>意識・呼吸などの確認</p> <p>生徒数名に、一番近くの職員と職員室、保健室に応援を呼びに行かせる（「誰が」「どこで」を正確に伝えるように指示）</p> <p>★<u>生徒から目を離さない!</u></p> <p>意識障害・けいれんの有無を観察</p> | <p>第一報を受けた者（A）は、被災生徒の学年学級、氏名を確認し、管理職、担任など複数の職員に連絡する</p> <p>大職員室から「緊急時対応マニュアル」を現場へ持参し、発見者の対応を補佐する</p> | <p>担任は現場に携帯を持って直行</p> <p>家庭・主治医へ連絡（担任・副担任）</p>                                      | <p>現状把握、全体指示、時間確認</p> |
| <p>救急車「119番」の要請をする</p> <p>・体を動かさないよう安静に、救急隊を待つ</p> <p>・砂糖を口腔内粘膜にぬりつける</p> <p>（反応がなく、呼吸がない場合）</p> <p>・心肺蘇生やAEDの使用</p>               | <p>周囲の生徒を現場から移動させる（生徒対応）</p> <p>状況を目撃した生徒への聞き取りなどを行い情報収集をする。精神面への配慮も行う</p>                           | <p>状況を説明し、落ち着いて学校へ来てもらうよう連絡する。居住地によっては搬送先に来てもらう場合もあるので、再度連絡することを伝える（連絡先を把握しておく）</p> |                       |
| <p>救急隊員の現場到着</p> <p>救急隊員への申し送り</p> <p>保護者への状況説明（学校もしくは搬送先）</p>                                                                     | <p>養護教諭は現場に到着しても、誘導等には加わず、現場を優先する</p> <p>救急車の誘導（事故現場を考慮してどこから誘導したらいいか判断する）</p>                       |                                                                                     |                       |
| 救急車への随行                                                                                                                            | 生徒管理等                                                                                                | 救急車への随行                                                                             |                       |

低血糖時の対応別紙①～②を参考のこと



## 低血糖時の対応

◆糖尿病でインスリン治療や、経口血糖降下剤を服用している場合に、食事を食べられなかったり、激しい運動をしたりすると薬が効きすぎて血糖が下がり、低血糖状態を起こします。

血糖値が低くなると、中枢神経の働きが低下、意識レベルも低下し、こん睡状態から死にいたることもあります。

### 【軽度】

- ☐ 空腹感
- ☐ いろいろ
- ☐ あくび
- ☐ 気分不良
- ☐ 手がふるえる

### 【中等度】

- ☐ 黙り込む
- ☐ 冷汗がでる
- ☐ 動悸
- ☐ 顔面蒼白
- ☐ 異常行動

### 【高度】

- ☐ 意識障害（昏睡）
- ☐ けいれん

#### 軽度・中等度

①血糖測定をする

↓

②測定値に応じた、糖分補給をする

（持参していなければ、スティックシュガーや角砂糖）

↓

②保健室、または安静にできる場所へ移動する

※一人で移動させないこと

↓

③1時間は経過を観察する

※軽度であっても、保護者へは連絡すること。

#### 高度

#### 高度への対応

①砂糖を、歯茎と口唇の間に刷り込む

※誤嚥を防ぐため、  
水に溶かしたものは避ける

②保護者・主治医に連絡する

③救急車を要請する（119番通報）

救急要請のポイント⇒別紙

④その場で安静にする

※立たせたり、歩かせたりしない！

⑤その場で救急隊を待つ

年 科 生徒氏名：

主治医への緊急連絡

☐ 軽度    ☐ 中等度以上で連絡する    ☐ 高度の場合のみ、連絡する

医療機関名

TEL - -

医師名

## 救急要請(119番通報)のポイント

### ◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



①救急であることを伝える

119番、  
火事ですか？  
救急ですか？

救急です。

②救急車に来てほしい住所を伝える

住所、施設名をあらかじめ記載しておく

小林市水流迫664-2  
小林秀峰高等学校  
です

住所はどこですか？

○区(市町村)○町  
○丁目○番○号  
○〇保育園  
(幼稚園、学校名)です。

③「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」をわかる範囲で伝える

どうしましたか？

5歳の園児が  
給食を食べたあと、  
呼吸が苦しいと  
言っています。

生徒の名前は( )です。( 歳)の( 男子 / 女子 )です。

生徒は【 糖尿病 】があり、

・インスリン注射を ☐しています ☐していません

・意識は ☐あります ☐ありません

・呼吸は ☐普通にしています ☐苦しそうです ☐していません

・けいれんは ☐あります ☐ありません

・主治医は 【 病院 医師 】です。

④通報している人の氏名と連絡先を伝える

119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える

あなたの名前と  
連絡先を教えてください

私の名前は  
○×□美です。  
電話番号は...

●通報時に伝えた連絡先の電話は、常に繋がるようにしておく  
●必要に応じて救急隊が到着するまでの応急手当の方法等を聞く

## 生徒の引き渡し緊急連絡カード

|                 |                     |                     |        |                     |           |
|-----------------|---------------------|---------------------|--------|---------------------|-----------|
| 生 徒 名           |                     | 性<br>別              | 男<br>女 | 学年<br>学科            | 年 科 ( ) 番 |
| 住 所             | 電 話 ( )             |                     |        |                     |           |
| 保 護 者 名         |                     | 児童生徒との関係            |        |                     |           |
| 本校に在籍する<br>兄弟姉妹 | ( 有 ・ 無 )           | 年 科 ( ) 番<br>氏名 ( ) |        | 年 科 ( ) 番<br>氏名 ( ) |           |
| 緊急時の連絡先<br>①    | 電 話 ( ) 携 帯 電 話 ( ) |                     |        |                     |           |
|                 | メー ル ア ド レ ス ( )    |                     |        |                     |           |
| 緊急時の連絡先<br>②    | 電 話 ( ) 携 帯 電 話 ( ) |                     |        |                     |           |
|                 | メー ル ア ド レ ス ( )    |                     |        |                     |           |
| 引き取り者名          |                     | 本人との関係              |        |                     |           |
| 避 難 場 所         |                     |                     |        |                     |           |
| 引き渡し日時          | 月 日 ( )             | 時 分                 | 教職員名   |                     |           |

※太線内について記入をお願いします。緊急時の連絡先は1件でも構いませんが2件ある場合は記入をお願いします。

## 引き取り者がいない生徒への配慮

- 1 生徒が引き取られるまで、安全な場所に集め、その場から離れないように座らせて落ち着かせる。
- 2 必ず教職員が付き添い、生徒に安心感を与える。
- 3 家族等と連絡が取れない場合は、引き取り者が来るまで学校で預かる。
- 4 生徒等には不安感を抱かせないように心のケアに努める。
- 5 電話や通信機能が回復すれば、保護者等の勤務先または緊急連絡先に連絡を取る。

# 火山噴火災害対策マニュアル



宮崎県立小林秀峰高等学校

# 火山噴火災害対策

## I 防災計画

### 1 避難勧告段階における学校の対策

校長は、学校所在地が避難対象地区となり「避難準備、避難勧告、避難指示」を発した旨の連絡を受けるか、又はそれを知った場合は、職員及び生徒に対して次のとおり措置し、適切な避難を実施する。

#### (1) 生徒が家庭にいる場合

##### ① 校長の措置

校長は避難措置が発せられたことを確認した場合、自宅待機等の措置を検討する。

あんしんメール（職員、生徒、保護者）並びにグーグルクラスルームやクラッシー等（生徒）により対応措置についての連絡を行う。

##### ② 生徒の対応

生徒は、避難措置が発せられ安全を確保することが困難な場合、自宅待機（避難所への避難含む）とするが、その旨、担任に連絡する。また避難区域の生徒は、自治体の発する指示に従う。

#### (2) 生徒が学校にいる場合（秀峰農場含む）

##### ① 校長の措置

校長は、ただちに授業を中止し、帰宅経路が安全な場合は帰宅させ、それ以外の場合は保護者、家族に引き渡す。家族に引き渡せなかった生徒は安全な場所で保護し、保護者に連絡する。

##### ② 職員の対応

定められた役割に従い、災害活動に従事する。

#### （参考）

避難措置（避難勧告・避難指示）が発せられる場合は、噴火警戒レベルがレベル4（同等）以上になった場合と考えられる。（平成23年新燃岳噴火参照）

## 2 噴火警戒レベル

| 予 報<br>警 報 | 対 象 範 囲                | 警 戒 レ ベ ル<br>(キ ー ワ ー ド) | 火 山 活 動 の 状 況                                                 |
|------------|------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 噴 火<br>警 報 | 居住地域及び<br>それより火口<br>側  | レベル5<br>(避難)             | 居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状況にある。                          |
|            |                        | レベル4<br>(避難準備)           | 住居地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)                       |
|            | 火口から居住地域近くまでの広い範囲の火口周辺 | レベル3<br>(入山規制)           | 住居地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。 |
|            | 火口から少し離れた所までの火口周辺      | レベル2<br>(火口周辺規制)         | 火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生、あるいは発生すると予想される。                              |
| 噴 火<br>予 報 | 火口内等                   | レベル1<br>(平常)             | 火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる。                         |

## 3 本校独自の火山噴火ランク(上記のレベルと違います)

| 火山噴火レベル | 対 応 等                                                                                     |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ランク3    | 自治体単位避難相当。社会機能、交通機関、情報連絡網マヒ。<br>関係機関の指示で行動。専門家の助言と連携。<br>本校対策マニュアル(学校防災 <火山噴火ランク3>)で行動。   |
| ランク2    | 噴火により噴石、降灰などで公共交通機関が運休になり、緊急を要する場合。関係機関の情報収集。専門家の助言と連携。<br>本校対策マニュアル(学校防災 <火山噴火ランク2>)で行動。 |
| ランク1    | 火口内で火山灰の噴出等が見られるが、特に緊急を要しない場合。平常授業。全校集会で注意喚起。関係機関の情報収集。<br>本校対策マニュアル(学校防災 <火山噴火ランク1>)で行動。 |

## II 指令系統

校 長      →      副校長・教頭・事務長      →      校内各災害担当職員

## III 学校内組織

| <p>自衛消防本部長      校 長      （管理権原者）</p> <p>自衛消防隊に対する指揮・命令・監督等を行う。</p>                                          |                                                                                                  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>自衛消防副本部長      副校長・教頭      （防火管理者）</p> <p>本部長を補佐し、本部長が不在時は、その任務を代行する。</p>                                 |                                                                                                  |
| <p>本 部 付      事務長・教務主任・生徒指導主事・学年主任・環境保健部主任・安全教育推進リーダー・<br/>防災士</p> <p>初動措置の指揮体制を図るとともに自衛消防本部長への報告連絡を行う。</p> |                                                                                                  |
| 任 務                                                                                                         |                                                                                                  |
| 各 係                                                                                                         | 役 割                                                                                              |
| ①情報連絡係<br>（副校長・教頭・教務主任、<br>教務部、情報部、事務部）                                                                     | 人的・物的被害その他の異常事態を各係から報告を受け、本部長へ連絡する。行方不明生徒の搜索を巡視係に依頼する。<br>また、学校ウェブサイト等を利用し情報伝達を行う。               |
| ②避難誘導係<br>（各学年主任、担任）                                                                                        | 体育館や教室または校庭への誘導に当たる。避難経路の安全確認を行う。生徒の点呼結果を情報連絡係に報告する。                                             |
| （図書渉外部主任、図書渉外部）                                                                                             | 保護者への生徒の引渡しを行う。保護者・地域住民への対応。                                                                     |
| ③消火・巡視係<br>（環境保健部主任、環境保健部）                                                                                  | 初期消火、ガス器具の元栓閉止、水道等の元栓閉止や理科薬品保管庫等の点検を行う。これらの結果を情報連絡係に連絡する。                                        |
| （生徒指導主事、<br>生徒支援部）                                                                                          | 行方不明生徒の搜索、校舎の被害の確認を行う。これらの結果を情報連絡係に連絡する。                                                         |
| ④救護係<br>（保健主事、環境保健部）                                                                                        | 救急用品の確保、負傷者への救急処理を行う。重傷者の移送等について救急車の手配をするように情報連絡係に依頼する。                                          |
| ⑤非常持出搬出係<br>（教務主任、教務部、事務部）                                                                                  | 校舎内での火災や校舎への延焼の恐れのある場合は、非常持ち出し品を搬出し管理する。なお、その必要がない場合は、他係への応援要員となる。                               |
| ⑥放送係<br>（事務主任、事務部）                                                                                          | 災害発生確認後、緊急放送、通報等を行う。また、校内放送での避難誘導、災害状況等の情報連絡を行う。                                                 |
| ⑦秀峰農場・高原牧場係<br>（農場長）                                                                                        | 災害発生確認後、農場、移動バスにおいて、命の安全を最優先に考え行動を指揮する。また人的、物的被害を最小限に留めるように、あらゆる対策、手段を講ずる。災害状況、人員確認後、情報連絡係に報告する。 |

#### Ⅳ 具体的な対策

##### Ⅰ 学校防災 <火山噴火ランク3>

火山噴火の前兆現象から本格的な噴火にいたるまでの経過の想定

チェック ☒

|                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 避難準備、避難勧告、避難指示の発令<br>↓ | 学校所在地が避難準備、避難勧告、避難指示の避難対象地区となった場合。<br><br><div style="text-align: right;">時刻の確認 <input type="checkbox"/><br/>(        :        )</div>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 校長判断                   | <p>【校長】→<u>生徒が家庭にいる場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体の発する指示を踏まえ、自宅待機等の判断をする。</li> <li>・副校長(教頭)は事前に確認してあるあんしんメールにより職員、生徒、保護者に、担任はグーグルクラスルームやクラッシー等により生徒に、自宅待機等の連絡を行う。</li> </ul> <p>【校長】→<u>生徒が学校にいる場合(秀峰牧場含む)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただちに授業・実習を中止し、帰宅経路が安全な場合(公共交通機関が動いている)は帰宅させ、それ以外の場合は保護者、家族に引き渡す。家族に引き渡せなかった生徒は校内の安全な場所で保護し、保護者に連絡する。</li> </ul> |
| 考えられる対応                | <p>①職員の非常参集計画。</p> <p>②避難地区対象者(生徒)の把握と避難先場所の確認。</p> <p>③避難情報の収集。</p> <p>④自治体との連携。</p> <p>⑤教育委員会の指示。</p> <p>⑥専門家の助言。</p> <p>⑦今後の対応について関係機関との連携。</p> <p>⑧秀峰牧場での対策。</p>                                                                                                                                                                                                                              |
| 関係諸機関への連絡              | <p>【県教育委員会】県教育庁 人権同和教育課 生徒指導・安全担当</p> <p>電話:0985-26-7238 FAX:0985-32-4476</p> <p>0985-26-7252</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |



## 2 学校防災 <職員在勤中の火山噴火ランク2>

火山噴火の前兆現象から本格的な噴火にいたるまでの経過の想定

チェック☒

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 噴火(爆発)発生<br>↓              | <p>【生徒】→窓ガラスから離れ、身を隠すなどの措置。</p> <p>【職員】→出口の確保を図った後、生徒の気持ちを落ち着かせ、時刻の確認□<br/>身の安全を図る。( : )</p>                                                                                                                                                                                    |
| 避難通報・誘導                    | <p>【事務】→次の内容を放送。「火山が噴火しました。生徒は安全のために自分の教室へ避難してください。窓ガラスとカーテンを閉め、窓ガラスから離れてください。屋外にいる生徒は直ちに自分の教室へ避難してください。」(繰り返す)</p> <p>※噴火後10分～20分の間に噴石、降灰の恐れあり(小林市内)。</p> <p>【副校長(教頭)】→秀峰農場(農場長)へ連絡。時刻の確認□( : )</p>                                                                            |
| 状況把握<br>↓                  | <p>【副校長(教頭)・情報広報部主任】→関係機関の情報収集、秀峰牧場の状況把握。</p> <p>噴火規模(噴火警戒レベル:レベル )風向確認( の風、 市 方向)</p> <p>【各学年主任・各学年副担任】→噴火、噴石、降灰の状況を見はからい、避難路や落下物等の点検。→【副校長(教頭)】へ報告。</p> <p>【環境美化部主任・部員】→校舎等の破損状況と、火気、電源等の点検確認。</p> <p>→【副校長(教頭)】へ報告。</p>                                                      |
| 校長へ連絡                      | <p>【情報部主任】→報告を受け→【校長】へ連絡。</p> <p>【校長】→関係諸機関との連携。</p>                                                                                                                                                                                                                            |
| 避難誘導放送<br>↓                | <p>【事務】→次の内容を放送。</p> <p>「生徒は自分の教室で待機してください。空振で窓ガラスが割れる危険があります。窓ガラスから離れてください。」(繰り返す)</p> <p>【副校長(教頭)】→秀峰農場(農場長)へ屋内待機と帰校の連絡。人員の把握。</p>                                                                                                                                            |
| 避難確認<br>↓                  | <p>【担任】→避難集合後直ちに人員点呼→【学年主任】に報告(学年主任が教室を巡回)。</p> <p>【生徒指導主事・部員】→可能な限り校内を回り、避難が終了しているか確認。</p> <p>【学年主任】→各教室を巡回し、担任から点呼結果の報告を受ける。→【副校長(教頭)】に報告。</p> <p>【副校長(教頭)】→不明の生徒がいる場合→【生徒指導主事】に搜索を依頼。</p> <p>【副校長(教頭)】→避難状況、点呼結果等→【校長】に報告。時刻の確認□</p> <p>【担任】→生徒には、教室から勝手に離れないように指示。( : )</p> |
| 救 護 ↓                      | <p>【保健部主任・部員、養護教諭】→けが人等がいる場合は、その処置。</p>                                                                                                                                                                                                                                         |
| 校長判断<br>学校待機<br>下校の判断<br>↓ | <p>【校長】→関係機関との連携。生徒の下校または学校待機の判断。</p> <p>【副校長(教頭)】→下校経路の安全が確保(公共交通機関が機能している)されていることを確認し、保護者へ連絡し下校させる。</p> <p>【副校長(教頭)・担任】→生徒を保護者へ確実に引き渡す必要がある場合(公共交通機関が機能していない)は、[生徒引き渡しカード]を作成し、保護者の署名により、生徒を保護者へ引き渡し、保護者と一緒に下校させる。帰宅が困難な生徒は保護者へ引き渡すまで校内の安全な場所で保護。</p>                         |
| 善後策の協議                     | <p>必要に応じて行う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 関係諸機関連絡                    | <p>【校長】→被害の状況、生徒の安全確保に対する措置と現在の状況の報告。</p> <p>→【県教育委員会】県教育庁 人権同和教育課 生徒指導・安全担当</p> <p>電話:0985-26-7238、0985-26-7252 FAX:0985-32-4476</p>                                                                                                                                           |

### 3 学校防災 <職員・生徒が不在中の火山噴火ランク2>

火山噴火の前兆現象から本格的な噴火にいたるまでの経過の想定

チェック☒

|                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 噴火(爆発)<br>発生<br>↓                               | 重大な被害をもたらす噴火(爆発)の場合で、学校にも被害が予想されるとき。<br>時刻の確認□<br>( : )                                                                                                                                                                                                                                             |
| 被害状況<br>確認                                      | 【校長・副校長(教頭)・事務長】→可能であれば来校し、被害状況を把握する。<br>→関係機関と連携。<br>→職員の出勤要請をするか判断。<br>噴火規模(噴火警戒レベル:レベル )風向確認( の風、 市 方向)                                                                                                                                                                                          |
| 職員への出勤<br>要請をする場合<br>の職員連絡<br><br>(内容)<br><br>↓ | 【校長・副校長(教頭)】→災害の程度に応じた参集体制、連絡体制(あんしんメール並びに緊急電話連絡表)を作成し職員に周知する。出勤可能な職員の人員や参集方法を把握する。出勤を要請する場合、各職員の被災状況の把握にも努める。<br>【全職員】→不在などの場合は次へ連絡する。<br>連絡内容:『この度の噴火(爆発)に際し、最善策を協議して対策を講ずる必要がありますので、出勤が可能であれば出勤してください。また先生方の被災状況について、報告の必要があるものについては学校に報告してください。出勤する場合は必ず火山からの風向きや、噴石、降灰、道路事情を必ず調べて安全を考慮してください。』 |
| 生徒確認<br><br>(内容)<br><br>↓                       | 【副校長(教頭)】→担任へ連絡し、生徒の安全と被災の状況を確認する。<br>【担任】→グーグルクラスルームやクラッシー等により、次のことを伝達する。<br>連絡内容:『今の噴火(爆発)で、生徒本人は怪我などしていませんか。被害の状況と連絡先(避難所)などを学校に知らせてください。』<br>【副校長(教頭)】→全校生徒の状況把握。                                                                                                                               |
| 関係諸機<br>関の連絡<br><br>↓                           | 【校長】→学校及び生徒の被災状況を委員会へ報告する。<br>当面考えている対応策についても概略を伝えておく。<br>【県教育委員会】県教育庁 人権同和教育課 生徒指導・安全担当<br>電話:0985-26-7238、0985-26-7252 FAX:0985-32-4476                                                                                                                                                           |
| 緊急対策<br>会 議                                     | 臨時職員会議を開き、次の事項を協議する。<br>① 現在の状況確認。<br>② 不足の情報収集方法、関係機関の情報収集。<br>③ 伝達手段の確保。<br>④ 本校が避難所になった場合の学校管理体制。<br>⑤ 当面の生徒への措置。<br>⑥ 出勤不可能な職員の措置。<br>⑦ 校内における降灰処理対策(委員会の支持に従い対応)。<br>⑧ 秀峰農場への対策。                                                                                                               |

#### 4 学校防災 <職員在勤中の火山噴火ランクI>

火山噴火の前兆現象から本格的な噴火にいたるまでの経過の想定

チェック☒

|                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 噴火(爆発)発生<br>↓                       | <p>【生徒】→窓ガラスから離れ、身を隠すなどの措置。</p> <p>【職員】→出口の確保を図った後、生徒の気持ちを落ち着かせ、身の安全を図る。</p> <p style="text-align: right;">時刻の確認<input type="checkbox"/><br/>(        :        )</p>                                                                                                                                                       |
| 状況把握<br>↓                           | <p>【副校長(教頭)・情報部主任】→関係機関の情報収集、秀峰農場の状況把握。</p> <p>噴火規模(噴火警戒レベル:レベル        )風向確認(        の風、        市        方向)</p>                                                                                                                                                                                                           |
| 校長へ連絡<br>校長判断<br>↓                  | <p>【副校長(教頭)・情報部主任】→関係機関の情報と噴火の状況。→【校長】へ連絡。</p> <p>【校長】→校舎屋内への避難が必要か判断、秀峰農場建屋内への避難が必要か判断。</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| 屋内への避難<br>が必要と判断し<br>た場合<br>避難通報・誘導 | <p>【事務】→次の内容を放送。</p> <p>「火山が噴火しました。生徒は安全のために自分の教室へ避難してください。窓ガラスとカーテンを閉め、窓ガラスから離れてください。屋外にいる生徒は直ちに自分の教室へ避難してください。」(繰り返す)</p> <p style="text-align: right;">時刻の確認<input type="checkbox"/><br/>(        :        )</p> <p>※噴火後10分～20分の間に噴石、降灰の恐れあり(小林市内)。</p> <p>【副校長(教頭)】→秀峰牧場(農場長)へ連絡。</p>                                  |
| 校長判断<br>↓                           | <p>【校長】→関係諸機関との連携。(早期下校等)</p> <p>全校集会または全校放送が必要か判断。(初回の噴火時は必ず実施)</p>                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 全校集会<br>全校放送<br>↓                   | <p>【副校長(教頭)】→全校集会または全校放送を行う旨の放送。秀峰農場へ帰校の連絡。</p> <p>場所:教室または体育館</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 人員確認<br>↓                           | <p>【担任】→人員点呼→【学年主任】に報告。</p> <p>(教室待機の場合、学年主任が教室を巡回する。)</p> <p>【学年主任】→点呼結果(教室待機の場合は各教室を巡回し担任から点呼結果の報告を受ける)→【副校長(教頭)】に報告。</p> <p>【副校長(教頭)】→点呼結果等→【校長】に報告。</p> <p>【担任】→生徒には、教室または体育館から勝手に離れないように指示。</p>                                                                                                                       |
| 全校集会・全校<br>放送における確<br>認事項<br>↓      | <p>【校長・副校長(教頭)】→次の事項を全校生徒に確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①命の安全を最優先に考えて行動すること。</li> <li>②火山噴火による、噴石、降灰への注意。交通事故。健康被害(マスク)。</li> <li>③登下校時に噴火が起きた場合の措置。(近くの民家、建物に避難)</li> <li>④想定以上の噴石、降灰がある場合の自宅待機と学校待機。</li> <li>⑤学校開始時刻の変更がある場合の緊急連絡網の確認。</li> <li>⑥早期下校がある場合の生徒への注意。</li> <li>⑦その他(今後の予想など)</li> </ol> |
| 善後策の協議                              | 必要に応じて行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 関係諸機関連絡                             | <p>【校長】→被害の状況、生徒の安全確保に対する措置と現在の状況の報告。</p> <p>【県教育委員会】県教育庁    人権同和教育課    生徒指導・安全担当</p> <p>電話:0985-26-7238、0985-26-7252    FAX:0985-32-4476</p>                                                                                                                                                                              |

# V 防災関係機関連絡窓口

| 機 関 名                 |            | 電 話 番 号      | 所 在 地               |
|-----------------------|------------|--------------|---------------------|
| 宮 崎 県                 | 災害対策本部     | 0985-26-7066 | 宮崎市橘通東2-10-1        |
|                       | 危機管理室      | 0985-26-7066 | 同上                  |
|                       | 河川課        | 0985-26-7184 | 同上                  |
|                       | 小林土木事務所    | 0984-23-5165 | 小林市細野367-2          |
|                       | 西諸県農林振興局   | 0984-23-3164 | 同上                  |
|                       | 小林保健所      | 0984-23-3118 | 小林市堤字金鳥居<br>3020-13 |
|                       | 小林警察署      | 0984-23-0110 | 小林市堤3020-13         |
| 第十管区海上保安本部<br>宮崎海上保安部 | 警備救難課      | 0987-22-3021 | 日南市油津4-12-1         |
| 宮崎河川国道事務所             | 大淀川砂防出張所   | 0984-42-1364 | 高原町西麓大迫187-1        |
| 宮崎地方气象台               |            | 0985-25-4033 | 宮崎市霧島5-1-4          |
| 西諸広域行政事務組合消<br>防本部    | 中央消防署      | 0984-23-0119 | 小林市真方493            |
| 陸上自衛隊                 | 第24普通科連隊   | 0986-33-3904 | えびの市大河4455-1        |
| 航空自衛隊                 | 新田原基地指令    | 0983-35-1121 | 児湯郡新富町新田            |
| 日本赤十字社                | 宮崎県支部      | 0985-22-4045 | 宮崎市別府町3-1           |
| 西諸医師会                 |            | 0984-23-2113 | 小林市細野2234           |
| 九州旅客鉄道(株)             | 宮崎総合鉄道事業部  | 0985-51-5988 | 宮崎市東大淀2-60          |
| 宮崎交通(株)               | 小林管理所      | 0984-23-3123 | 小林市細野2152           |
| 西日本電信電話(株)            | 宮崎支店       | 0985-23-8726 | 宮崎市広島1-5-3          |
| 九州電力(株)               | 宮崎支店       | 0985-26-9013 | 宮崎市橘通西4-2-23        |
|                       | 都城営業所      |              | 都城市姫城町33-5          |
| 日本通運                  | 宮崎支店       | 0985-22-2182 | 宮崎市高千穂通<br>2-6-18   |
| 日本放送協会                | 宮崎放送局      | 0985-22-3610 | 宮崎市江平西2-2-15        |
| 高原町役場                 | 高原町役場農村建設課 | 0984-42-2111 | 高原町大字西麓899          |
| 国民健康保険高原病院            |            | 0984-42-1022 | 高原町大字西麓871          |

## VI 火山噴火防災について

### I はじめに

#### 2011年 霧島山(新燃岳)噴火について

- ・霧島山は、比較的小さな火山が集まってできている火山群です。
- ・新燃岳における前回のマグマ噴火は、享保の噴火(1716年～1717年)で60名以上の死傷者がでました。
- ・2011年の爆発的噴火(1月27日、2月14日)により、風によって遠くまで運ばれて新燃岳の風下に落下する噴石(こぶし大)や火山灰、空振(くうしん)によるケガやガラスの破損等の被害がでました。

#### 「霧島山(新燃岳)噴火時に噴石等から身を守るために」の必要性について

- ・噴石(こぶし大)、火山灰、空振は、基本的には室内に避難するなどの身を守る行動で被災をまぬがれることができ、必ずしも避難所への避難が必要ではありませんが、人命に影響があることも可能性として考えておかねばなりません。
- ・噴石、降灰にともなう交通事故などの二次災害も十分気を付けておかねばなりません。

### 2 噴石等から身を守るために

#### (1) 新燃岳噴火で確認されている2種類の噴石(こぶし大)について

| 噴石(こぶし大)の種類 | 特 徴                                                                                                                               | 噴火事例                                                                                              |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 軽石状の噴石    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・噴煙がしばらく立ち上がるような噴火で飛び出したもの。</li> <li>・軽石状なので比較的軽く、より遠くまで風に運ばれやすい。</li> </ul>               | <b>【1月27日噴火】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火口から約7km離れた御池小学校に7～8cmの噴石が落下。</li> </ul> |
| ② 溶岩の破片状の噴石 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・爆発的噴火により山頂の溶岩を吹き飛ばしたもの。</li> <li>・溶岩が破碎(はさい)破砕されたものなので、軽石状の噴石よりも重く、尖(とが)尖っている。</li> </ul> | <b>【2月14日噴火】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1～3cmの噴石が火口から約16km離れた小林市内へ落下。</li> </ul> |

#### (2) 風で流される噴石(こぶし大)の到達範囲



### (3) 2種類の噴石(こぶし大)の噴出から落下までの時間

#### ① 軽石状の噴石

地下から上昇したマグマが地表に噴出し、噴煙に乗り上空に吹き上げられます。その後、軽石状の噴石は比較的軽いので、風に乗って風下側へより遠くまで運ばれ、ゆっくり降下します。

(例) 噴火確認から10km離れたところに落下するまでにかかる時間の試算

噴煙高度2,000m、風速15m/s、落下速度5m/sの場合

**約18分と試算**

#### ② 溶岩の破片状の噴石

山頂にある、冷えて固まった溶岩が噴火の際に吹き飛ばされ、破片状になった噴石が噴煙によって上空に吹き上げられます。その後、風下側に流されて落下します。

(例) 噴火確認から10km離れたところに落下するまでにかかる時間の試算

噴煙高度2,000m、風速15m/s、落下速度20m/sの場合

**約13分と試算**

### (4) 噴石による被害と対策

|    |                                                                                                                                                      |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 被害 | 空から硬い石が落下するため、物が壊れたり、直接人に当たった時はケガをしたりする可能性があります。                                                                                                     |
| 対策 | 噴石は噴火してから地面に降下するまで、火口からの距離にもよりますが、数分～十数分かかります。噴火に気づきさえすれば、建物や屋根の下に隠れるなどの身を守る行動をとることのできる時間があります。自宅や野外で活動する際の場所等が、火口からどれくらいの距離で、どの方向かをあらかじめ確認しておきましょう。 |

### (5) 火山灰による被害と対策

|    |                                                                                                                                                         |
|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 被害 | 火山灰による被害は様々で、尖った火山灰が体内に入ると、目、肺等の呼吸器に影響を与えます。火山灰粒子が非常に細かく、呼吸によっては肺の奥深くまで入ることがあり、せきの増加や炎症など引き起こします。また水を含んだ火山灰は滑りやすくなるだけでなく、そのものが重くなることで建物等にも影響を与えます。      |
| 対策 | マスクを着用しましょう。また、目に入った場合は無理にこすったりしないで目薬や水で洗い流しましょう。コンタクトレンズを着用している人は、角膜剥離を予防するため、降灰時には可能な限りコンタクトレンズをはずしておくようにしましょう。<br>車のスリップ事故の危険性があります。登下校時は十分気を付けましょう。 |

### (6) 空振による被害と対策

|    |                                                                         |
|----|-------------------------------------------------------------------------|
| 被害 | 空振とは爆発的噴火に伴い発生する空気の強い振動です。新燃岳の噴火でもガラスを割るなどの被害をもたらしました。                  |
| 対策 | 新燃岳に面したガラス窓には、活動が活発な時は近づかないようにしましょう。また、ガラスに粘着テープやカーテンでガラスが飛び散るのを防ぎましょう。 |

## 3 おわりに

火山現象は多様であり刻々と変化します。天候や風向き、昼と夜でもそれぞれの対応が必要になります。その「被害」、「身の守り方」について知識を深めることが重要です。